

2030年アジアNO.1の 国際文化都市を目指して

2026年3月18日（水）

主催

公益財団法人 りそなアジア・オセアニア財団

公益財団法人 大阪観光局理事長（大阪観光局長）
元観光庁長官 大阪府・大阪市 I R 推進会議座長

溝 畑 宏

大阪・関西万博の効果と活用

大阪・関西万博の効果

※大阪観光局が考える代表的なもの

- 大阪・関西の世界的知名度の向上
- 海外とのネットワーク強化 各国の元首、首脳級79ヶ国、2国際機関計91名 (出典) 2025年日本国際博覧会協会
- 交通などの成長インフラ整備
- 地域のおもてなし力の強化
- SDGsの推進
- 国内他地域との連携強化

大阪のミッション

大阪・関西万博のレガシーを活かした新たな活動方針

関西一体となった
誘客

関西観光本部と連携した関西周遊促進

観光ショーケース事業の推進

アジアのハブ都市
機能強化

都市政策、交通政策及び海外に向けた効果的な情報発信

観光客の多様なニーズに応じた満足度の高いコンテンツの造成と効果的な情報発信

SDGsの
強力な推進

都市緑化の推進

ダイバーシティの推進 (LGBTQツーリズム・ユニバーサルツーリズム・ペットツーリズム・留学生支援)

高付加価値観光の
推進

富裕層市場とのネットワーク強化、高付加価値コンテンツの造成、富裕層誘致

地域社会との
共生

おもてなし文化の
普及

若い世代・青少年が
活躍できる都市

世界平和
世界協調

アジアNo.1の
国際観光文化都市へ

世界に伝えたい日本の魅力 ～This is JAPAN～

① 静けさと敬意を大切に暮らす

日本では、静寂は他者への思いやりであり、美しい所作のひとつです。電車や寺社、自然の中で声を控える行動には、空間を尊ぶ心が込められています。それは、余白にこそ美が宿るといふ「わび・さび」の感性の表れでもあります。

② お辞儀と挨拶に宿る心

頭を下げるだけの仕草にも、相手を敬い、自分を省みる心が込められます。言葉少なに通じ合うのもまた、日本の「道」の一端。日々を丁寧に生きる姿勢が、静かに伝わっていきます。

③ 思いやり

他者の心の痛み気づき、そっと寄り添う——それは、日本社会に根づく「思いやり」の核です。列に並び、譲り合う日常の行動に、「共に在る」ことの美徳が滲みます。

④ 調和と美徳

「もったいない」という言葉に代表されるように、物や自然に対しても敬意と感謝を抱く文化があります。無駄を避け、調和の中に生きる。そこにこそ、自然と調和する「道」があります。

⑤ 食事への感謝

「いただきます」には、命をくれたもの、育てた人、調理した人への感謝が込められています。四季の恵みに手を合わせ、五感で料理を味わう——日々の食卓に、「自然と人とのつながり」が静かに宿ります。

⑥ 自然への畏敬と礼節

山も森も、風も水も、ただの景色ではなく“生きた存在”。自然と共に在るという感覚は、古来より「神と暮らす」文化として息づいています。足音ひとつにも気を配るその振る舞いに、共生への感謝が表れています。

⑦ 包容力と多様性

日本は、他者と異なることを否定せず、静かに受け入れてきた歴史があります。古い価値観を活かしながら、新たな考えを柔らかく包む——「温故知新」の姿勢が、多様な世界との調和を可能にしています。

⑧ 「おもてなし」に込められた心

日本のおもてなしは、目立たず、控えめで、しかし深く温かい。相手を思いやる所作の積み重ねは、「心を尽くす道」に通じます。言葉だけでなく、優しさや気遣いの空気を感じてみてください。

⑨ 日常に息づく美意識

折り紙の一折、茶を点てる所作、書の一筆など一見ささやかな行いにこそ、深い美が宿ると信じる文化。日常の一瞬に目を留め、美しさを感じ取る、日本人の誇る美意識はそのような場所にこそ宿ります。

⑩ 世界平和、世界協調

戦後80年。いま私たちは、次の時代の調和と平和を紡ぐ節目に立っています。ただの観光者ではなく、共に世界をよりよくする「心の大使」として、この国の静けさ、美しさ、やさしさを、世界へ持ち帰ってください。日本という小さな島国から、世界との大きな共鳴が生まれますように。

日本が世界に誇る唯一無二のコンテンツを万博会場で発信

◆温泉



◆健康・美・長寿



◆相撲



◆忍者



日本が世界に誇る唯一無二のコンテンツを万博会場で発信

◆空手



◆着物



◆お遍路



大阪・関西万博から未来に繋ぐ“One Green” 自然を核に、脱炭素社会へ貢献

◆大屋根リング（木造を提言）



◆静けさの森（閉幕後の保存を提言）



◆1万人の第九 EXPO2025



◆One Green in EXPO 2025（シンポジウムを開催）





全ての人々が平等な多様性あふれる世界を万博の舞台で発信

◆Hello! おもてなしジュニア



◆国際紅白歌合戦



◆METインクルーシブスマイルデー



◆ペットとの共生イベント



高付加価値型観光の推進

MICE誘致を加速、国際会議都市としての地位を強化

◆業界連携

・MICE & Event Professionals Meeting開催・TEAM OSAKA MICE設立

◆大型誘致案件

・JAPAN Health・The Global Initiative for Safety, Health & Well-being (GISHW)

◆海外ネットワーク構築

・各国と交流（ポーランド、ベトナム、中国、サウジアラビアなど）



大阪から世界へ、未来を創る

◆万博を起点に、SDGs推進と観光資源強化を加速し、**アジアNo.1の国際観光文化都市**へ

◆インフラ整備・大型イベント誘致で世界水準の都市を実現し、**2030年 IR開業**につなげる

◆**日本の精神文化**を世界に発信し、**平和と協調**のレガシーを未来へ

観光＝地域の総合的戦略産業

観光とは、各地域独自の資源を掘り起こし付加価値を加え、広報や広告等により国内外に通用するコンテンツを創り、国内外からヒト、モノ、カネを集めることにより都市の魅力を高め、地域にとって持続可能な社会をつくる総合的戦略産業である。

■ 観光による経済効果

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
観光のGDPへの貢献度 <兆円>	36.7	37.3	38.2	40.6	40.8	18.4	22.7	36.8	41.3
日本のGDP(名目) <兆円>	540.7	544.8	555.7	556.6	556.8	538.8	554.8	568.6	596.5
観光の占める割合 <%>	6.8	6.8	6.9	7.3	7.3	3.4	4.1	6.5	6.9

日本でのGDPにおける観光分野の貢献度は7%前後(コロナ禍除く)だが、世界では10%を超えており、さらに成長可能な産業

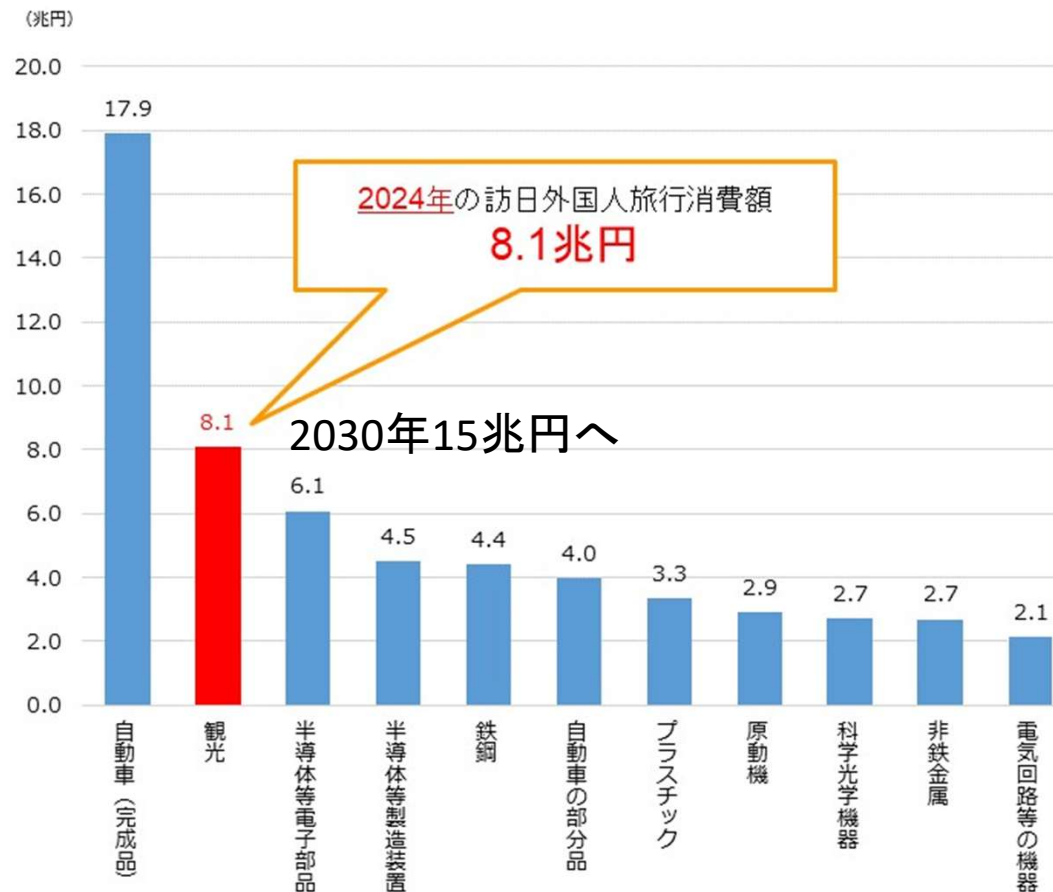
【出典】WTTC（世界旅行ツーリズム協議会）「旅行・観光の経済的影響（Economic Impact）2024」

観光政策とは、都市政策、経済政策及び交通政策などの“まちづくり”を含む産業として国家戦略の柱と位置付けられており、都市魅力の向上や持続可能な社会を実現する上で極めて重要

観光産業の規模感

- ➡ インバウンド消費 8.1兆円突破、自動車「輸出額」に次ぐ規模に成長
- ➡ 日本政府は、2030年に「訪日客6,000万人」・「消費額15兆円」が目標

【参考】インバウンド消費額の製品別輸出額との比較（2024年）



資料：観光庁「インバウンド消費動向調査（旧訪日外国人消費動向調査）」、財務省「貿易統計」に基づき観光庁作成

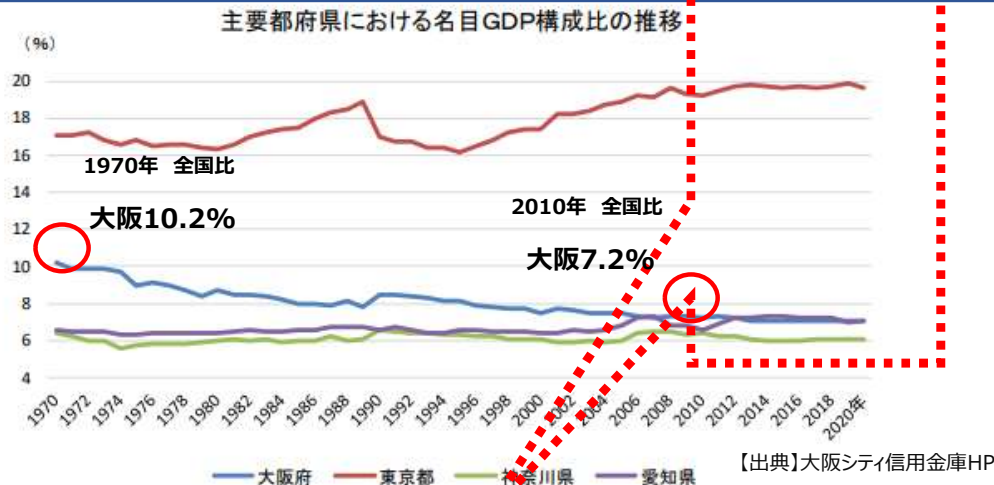
訪日客（インバウンド）が日本経済を支える柱。主要品目の輸出額と比べると自動車に次ぐ規模であり、日本が海外に売り込む品目はモノからサービスにシフトしつつある。

訪日客需要は、10年で5倍に拡大

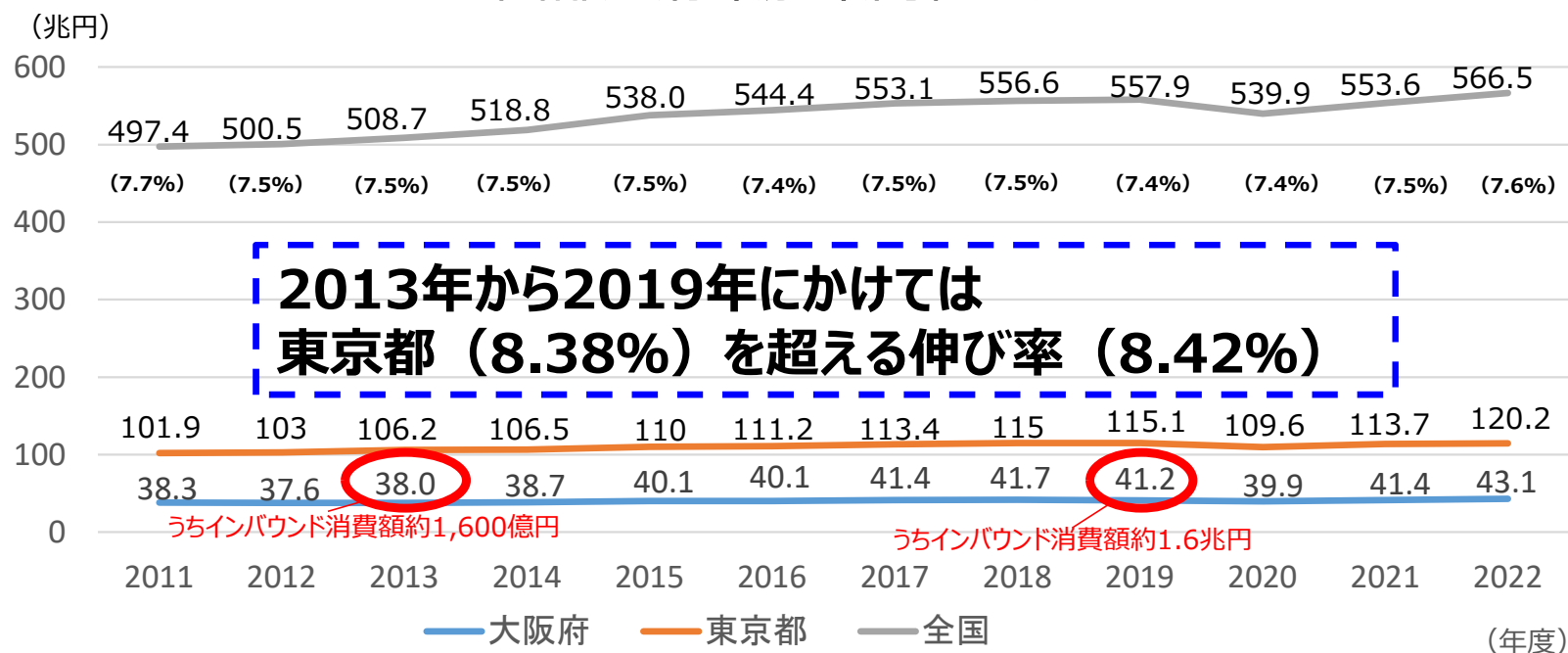
経済の低迷からの脱却

大阪府の状況

2040年、名目GDP全国比
10%達成に向け、
インバウンド消費の増加が
不可欠！



全国都道府県別県内総生産



来阪インバウンド観光客数及び観光消費額の推移

(2026年の来阪インバウンド観光客数及び2030年の観光消費額は大阪観光局目標値)

2014年から2025年までの**11年間で...**

訪日外客数は 376万人から**1,760万人**へ ⇒ **約4.7倍**

【参考】東京（※6月発表） 全国 約3.2倍

インバウンドによる観光消費額は、

2,661億円から**1兆6,881億円**（暫定値）へ ⇒ **約6.3倍**

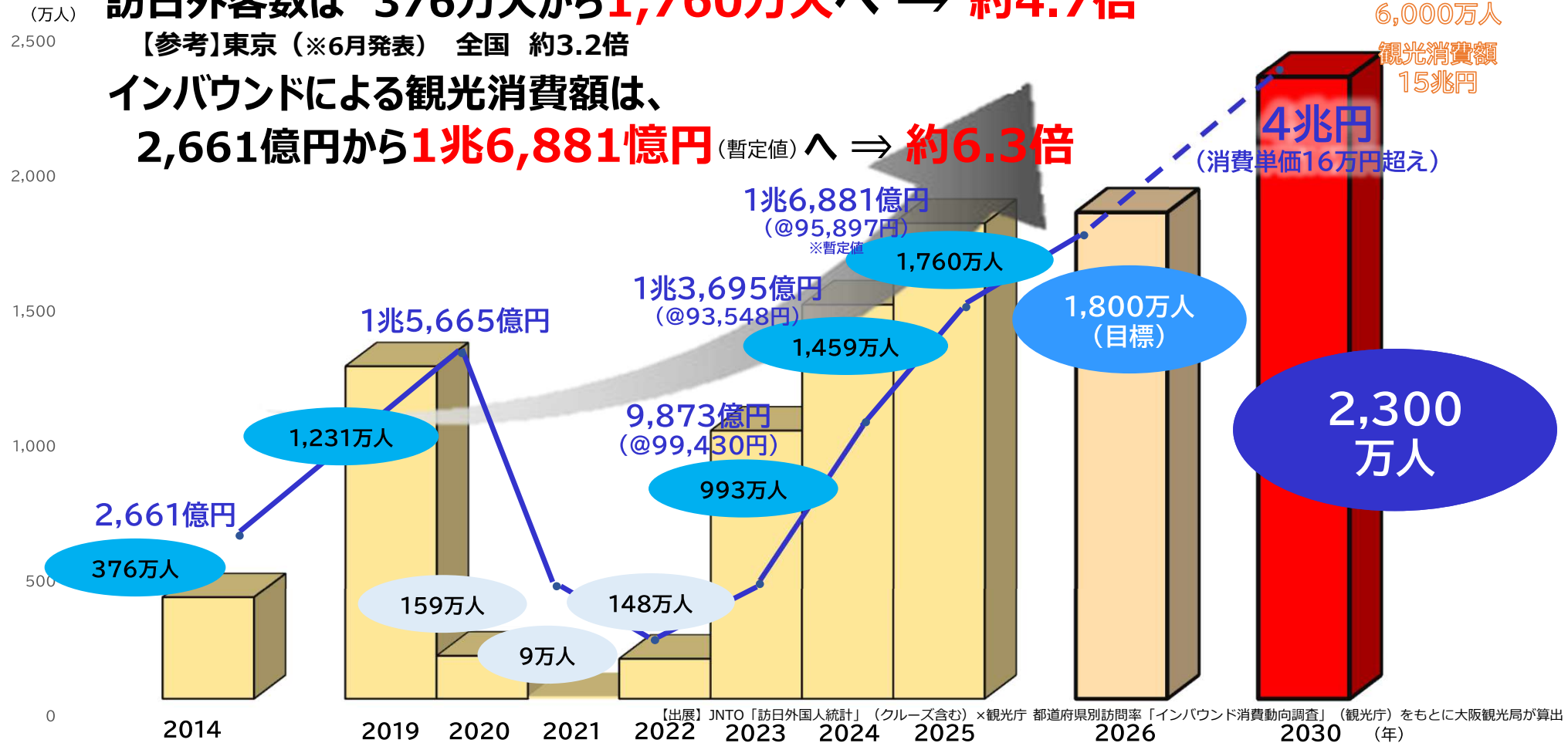
全国目標(2030年)

訪日外国人観光客数

6,000万人

観光消費額

15兆円



【出展】JNTO「訪日外国人統計」（クルーズ含む）×観光庁 都道府県別訪問率「インバウンド消費動向調査」（観光庁）をもとに大阪観光局が算出

【参考】東京・全国のデータ

	2025年実績	インバウンド観光客数(万人)	観光消費額(円)	観光消費額単価(円)
東京		2,175 ※大阪観光局推計	2兆2,375億 ※1~6月期のみ	(15万9,842円) ※2024年実績 ※大阪観光局推計
全国		4,268	9兆4,550億	22万1,532円

2030年 インバウンド観光客**2,300万人**
インバウンド消費**4兆円**を目指す！！

(参考) シンクタンク等による大阪のポジション分析

世界で最も住みやすい都市ランキング 2025 ※英誌「エコノミスト」	世界の都市総合ランキング 2025 ※森記念財団 都市戦略研究所	世界の観光都市ランキング 2025 ※英調査会社ユーロモニターインターナショナル	2025年に行くべき52カ所 ※米誌「ニューヨーク・タイムズ」																																																																																																		
<p>・安定性、医療、インフラにおいて高評価である一方、文化・環境分野の評価が低い (対象は世界173都市)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>順位</th> <th>都市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1位</td><td>コペンハーゲン (デンマーク)</td></tr> <tr><td>2位</td><td>ウィーン (オーストリア)</td></tr> <tr><td>3位</td><td>チューリッヒ (スイス)</td></tr> <tr><td>4位</td><td>メルボルン (オーストラリア)</td></tr> <tr><td>5位</td><td>ジュネーブ (スイス)</td></tr> <tr><td>5位</td><td>シドニー (オーストラリア)</td></tr> <tr><td>7位</td><td>大阪</td></tr> <tr><td>7位</td><td>オークランド (ニュージーランド)</td></tr> <tr><td>9位</td><td>アデレード (オーストラリア)</td></tr> <tr><td>10位</td><td>カルガリー (カナダ)</td></tr> </tbody> </table>	順位	都市	1位	コペンハーゲン (デンマーク)	2位	ウィーン (オーストリア)	3位	チューリッヒ (スイス)	4位	メルボルン (オーストラリア)	5位	ジュネーブ (スイス)	5位	シドニー (オーストラリア)	7位	大阪	7位	オークランド (ニュージーランド)	9位	アデレード (オーストラリア)	10位	カルガリー (カナダ)	<p>・大阪は総合18位と昨年の35位から大きく上昇。万博開催の効果で文化・交流分野が昨年23位から13位へ上昇したが、経済、環境分野は依然低い (対象は世界48都市)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>順位</th> <th>都市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1位</td><td>ロンドン (イギリス)</td></tr> <tr><td>2位</td><td>東京</td></tr> <tr><td>3位</td><td>ニューヨーク (アメリカ)</td></tr> <tr><td>4位</td><td>パリ (フランス)</td></tr> <tr><td>5位</td><td>シンガポール</td></tr> <tr><td>6位</td><td>ソウル (韓国)</td></tr> <tr><td>7位</td><td>アムステルダム (オランダ)</td></tr> <tr><td>8位</td><td>上海 (中国)</td></tr> <tr><td>9位</td><td>ドバイ (UAE)</td></tr> <tr><td>10位</td><td>ベルリン (ドイツ)</td></tr> <tr><td>⋮</td><td>⋮</td></tr> <tr><td>18位</td><td>大阪</td></tr> </tbody> </table>	順位	都市	1位	ロンドン (イギリス)	2位	東京	3位	ニューヨーク (アメリカ)	4位	パリ (フランス)	5位	シンガポール	6位	ソウル (韓国)	7位	アムステルダム (オランダ)	8位	上海 (中国)	9位	ドバイ (UAE)	10位	ベルリン (ドイツ)	⋮	⋮	18位	大阪	<p>・経済・ビジネスの実績、観光実績、観光政策と魅力度、観光インフラ、衛生・安全、持続可能性の観点から観光都市としての魅力を総合評価 (対象は世界100都市)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>順位</th> <th>都市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1位</td><td>パリ (フランス)</td></tr> <tr><td>2位</td><td>マドリード (スペイン)</td></tr> <tr><td>3位</td><td>東京</td></tr> <tr><td>4位</td><td>ローマ (イタリア)</td></tr> <tr><td>5位</td><td>ミラノ (イタリア)</td></tr> <tr><td>6位</td><td>ニューヨーク (アメリカ)</td></tr> <tr><td>7位</td><td>アムステルダム (オランダ)</td></tr> <tr><td>8位</td><td>バルセロナ (スペイン)</td></tr> <tr><td>9位</td><td>シンガポール</td></tr> <tr><td>10位</td><td>ソウル (韓国)</td></tr> <tr><td>11位</td><td>大阪</td></tr> </tbody> </table>	順位	都市	1位	パリ (フランス)	2位	マドリード (スペイン)	3位	東京	4位	ローマ (イタリア)	5位	ミラノ (イタリア)	6位	ニューヨーク (アメリカ)	7位	アムステルダム (オランダ)	8位	バルセロナ (スペイン)	9位	シンガポール	10位	ソウル (韓国)	11位	大阪	<p>・「グラングリーン大阪」プロジェクトやLGBTQ+への取組みなどを通じ、「日本で最も先進的な都市」と評価。大阪・関西万博も話題に</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>ジェーン・オースティン (イングランド)</td></tr> <tr><td>2</td><td>ガラパゴス諸島 (エクアドル)</td></tr> <tr><td>3</td><td>ニューヨーク市の美術館</td></tr> <tr><td>4</td><td>アッサム州 (インド)</td></tr> <tr><td>5</td><td>ホワイトロータス (タイ)</td></tr> <tr><td>6</td><td>グリーンランド</td></tr> <tr><td>7</td><td>エクサンプロヴァンス (フランス)</td></tr> <tr><td>8</td><td>アイダホ州サンバレー</td></tr> <tr><td>9</td><td>ルンビニ (ネパール)</td></tr> <tr><td>10</td><td>シドニー (オーストラリア)</td></tr> <tr><td>30</td><td>富山県</td></tr> <tr><td>38</td><td>大阪市</td></tr> </tbody> </table>	No.	場所	1	ジェーン・オースティン (イングランド)	2	ガラパゴス諸島 (エクアドル)	3	ニューヨーク市の美術館	4	アッサム州 (インド)	5	ホワイトロータス (タイ)	6	グリーンランド	7	エクサンプロヴァンス (フランス)	8	アイダホ州サンバレー	9	ルンビニ (ネパール)	10	シドニー (オーストラリア)	30	富山県	38	大阪市
順位	都市																																																																																																				
1位	コペンハーゲン (デンマーク)																																																																																																				
2位	ウィーン (オーストリア)																																																																																																				
3位	チューリッヒ (スイス)																																																																																																				
4位	メルボルン (オーストラリア)																																																																																																				
5位	ジュネーブ (スイス)																																																																																																				
5位	シドニー (オーストラリア)																																																																																																				
7位	大阪																																																																																																				
7位	オークランド (ニュージーランド)																																																																																																				
9位	アデレード (オーストラリア)																																																																																																				
10位	カルガリー (カナダ)																																																																																																				
順位	都市																																																																																																				
1位	ロンドン (イギリス)																																																																																																				
2位	東京																																																																																																				
3位	ニューヨーク (アメリカ)																																																																																																				
4位	パリ (フランス)																																																																																																				
5位	シンガポール																																																																																																				
6位	ソウル (韓国)																																																																																																				
7位	アムステルダム (オランダ)																																																																																																				
8位	上海 (中国)																																																																																																				
9位	ドバイ (UAE)																																																																																																				
10位	ベルリン (ドイツ)																																																																																																				
⋮	⋮																																																																																																				
18位	大阪																																																																																																				
順位	都市																																																																																																				
1位	パリ (フランス)																																																																																																				
2位	マドリード (スペイン)																																																																																																				
3位	東京																																																																																																				
4位	ローマ (イタリア)																																																																																																				
5位	ミラノ (イタリア)																																																																																																				
6位	ニューヨーク (アメリカ)																																																																																																				
7位	アムステルダム (オランダ)																																																																																																				
8位	バルセロナ (スペイン)																																																																																																				
9位	シンガポール																																																																																																				
10位	ソウル (韓国)																																																																																																				
11位	大阪																																																																																																				
No.	場所																																																																																																				
1	ジェーン・オースティン (イングランド)																																																																																																				
2	ガラパゴス諸島 (エクアドル)																																																																																																				
3	ニューヨーク市の美術館																																																																																																				
4	アッサム州 (インド)																																																																																																				
5	ホワイトロータス (タイ)																																																																																																				
6	グリーンランド																																																																																																				
7	エクサンプロヴァンス (フランス)																																																																																																				
8	アイダホ州サンバレー																																																																																																				
9	ルンビニ (ネパール)																																																																																																				
10	シドニー (オーストラリア)																																																																																																				
30	富山県																																																																																																				
38	大阪市																																																																																																				

大阪は観光都市としての評価は高まってきている一方で、「経済」、「環境」分野における評価が低い



スタートアップ支援、都市緑化を含む環境への取組みを強化することが、都市の魅力を向上させ、“住んで良し”の都市としての認知につながる

大阪観光局 取組みの方向性

1. 大阪観光局の役割

国、行政、DMO、地域と連携して**大阪観光の司令塔**としての役割を果たす

① **オーガナイザー**(organizer)
全体をプロデュースする役割

② **プロモーター** (promoter)
熱を生み出す役割

③ **アクセラレーター** (accelerator)
取組みを加速させる役割

2. 大阪観光局のミッション (2017年11月DMO法人登録)

大阪観光推進のプラットフォームとして、大阪への**経済効果を最大化**する

① **数を増やす**
大阪が目的地として選ばれる取組み

② **質を上げる**
着地後消費を最大化させる取組み

③ **波及させる**
経済効果を持続・波及させる取組み

➡ **量から質への転換を加速**

3. 事業展開における3つのコンセプト

24時間観光都市
Anytime

関西・日本観光のハブ
Anywhere

多様性あふれる街
Anybody

4. IR開業に向けた活動目標

- ① **日本観光の「ショーケース」** 日本 of 新しい「玄関」大阪から全国の魅力を発信し、送客
- ② **日本観光の「トップランナー」** 各分野のプロ集団となり、全国の関係者のモデルに
- ③ **成長戦略の「起爆剤」** 新しいビジネスや価値を生み出し、持続的な経済発展に貢献
- ④ **高付加価値MICE都市** 参加者に高い満足度、経済効果を広く長く波及させるMICE都市に

【アジアNo.1の国際観光文化都市】へのロードマップ[°] (想定含む)

区分	2023年	2024年	2025年	2026年以降	2030年以降
フェーズ	HOP 万博での飛躍を狙い、各事業で具体的活動の実行を重ね、成長を加速させる		STEP! 万博での成果を土台にIR開業を見据え総仕上げ		JUMP!! アジアNo.1の国際観光文化都市の実現へ
	万博の機運醸成 ●ラグビーW杯 (フランス) ●夏オリパラ (パリ)		●冬季五輪(ミラノ・コルティナ) ●ラグビーW杯 (オーストラリア) ●サッカーW杯(カナダ・メキシコ・アメリカ) ●WBC (日本・アメリカ・フェルトリコ)		来阪外国人旅行者数…2,300万人 来阪インバウンド観光消費額…4兆円
大規模イベント等	Tourism Expo Japan 未来モノづくり国際EXPO 2023 G7 2023 HIROSHIMA SUMMIT トラベラミッド・ウエスト in OSAKA-SAKAI ・センタラグランドホテル大阪開業	IGLTA世界総会大阪大会 Japan MICE EXPO 2024 大阪プレDC 大阪来てなキャンペーン 第19回食育推進全国大会 ・キャンピーbyヒルトン大阪梅田開業 ・フォーシーズンズホテル大阪開業 ・大阪ステーションホテルオートグラフコレクション開業	EXPO 2025 大阪来てな! オモロイがいっぱい大阪旅 大阪DC ・パティーナ大阪開業 ・ウォルdorf・アストリア大阪開業	Connections Luxury Asia Pacific (2026~2028年) 大阪アフターDC (2026年) アジア大会 (2026年名古屋) KANSAI WORLD MASTERS GAMES 2021 ワールドマスターズゲームズ (2027年) 第35回日本医学会総会(2027年)	CONNECTIONS LUXURY, ASIA PACIFIC 全国豊かな海づくり大会 (2026年) ISPO (IR開業時想定)
交通体系	北大阪急行延伸開通	夢洲新駅開業	神戸空港：国際チャーター便就航 関西空港：新規ルート運航開始	神戸空港 国際定期便就航 (2030年頃) なにわ筋線 開通 (2031年)	関西国際空港発着回数30万回実現 (2030年代前半)
都市開発		うめきた2期 まちびらき 中之島未来医療国際拠点オープン	大阪公立大学 森之宮キャンパス開設 淀屋橋地区 再開発	高付加価値旅行者層受入環境の整備 (例) スーパーヨット等 グラングリーン大阪 全面オープン (2027年) 大阪城東部地区開発 1.5区まちびらき (2028年以降)	IR 施設開業 (2030年秋頃) 新大阪駅再開発 (2030年以降) 淀川左岸線 2期一般供用開始 (2032年予定) なんば-心齋橋間ウォークアブルエリア化 (2037年予定)
来阪外国人 (単位：万人) ※観光局想定	1,300 【参考】2023年実績 993万人	1,400 【参考】2024年実績 1,459万人	1,500(万博での飛躍)	→	2,300 【参考】2030年 6,000万人 (全国) 観光庁

大阪観光局が取り組む主な事業

2026年は、大阪・関西万博での成功を礎にアジアNo.1の国際観光文化都市に向けて跳躍

大阪観光局キャッチコピー「Downtown of Japan」

2026年のテーマ「飛」



2030年 アジアNo.1の国際観光文化都市の実現に向けたキーワード

「量から質へ」「安全・安心」「ストレスフリー」「シームレス」「社会問題対策」「災害・緊急時対応」「観光人材の育成・確保」

★ = 重点的に取り組む事業

高付加価値観光の推進

旅行者満足度の向上に資する取組み

ナイトタイムエコノミーの推進

大阪・関西万博のレガシー継承・活用

コンシェルジュ育成

高付加価値MICEの誘致

SDGsの推進

- ★ エコバールツーリズム
- ★ 留学生支援教育交流
- ★ 食のSDGs
- ★ スポーツツーリズム (サイクリング・アウトドア)
- ★ ペットツーリズム
- ★ 緑化・環境への取組み
- ★ LGBTQツーリズム

日本の観光ショーケース

- ★ 関西・広域周遊、府域周遊、大阪・堺市内周遊の取組み
- 関西及び関西以外との連携事業
- 府域周遊
- 大阪市内周遊
- 堺市内周遊
- 大阪と全国各地の魅力を繋ぐテーマ別送客の取組み (一部)
- 温泉
- 健康・美・長寿
- 相撲
- 忍者

大阪の強み

- ★ スポーツツーリズム (プロスポーツ連携)
- ★ 食・ブランディング
- ★ ポップカルチャー
- ★ 水都・瀬戸内周遊
- ★ 文化芸術観光
- ★ ショッピングツーリズム
- ★ 伝統行事・祭り

観光DX・マーケティングリサーチ

- ★ 観光データベース (DMP)構築
- 観光アプリ
- 関空調査
- WebサイトSNS運用

国内観光の推進

旅行博・商談会

民間事業者との連携

インバウンド誘致

★ リアルプロモーション

受入環境整備

アウトバウンド促進

フードダイバーシティ

災害への対応

急患

社会課題対策

マナー啓発

旅のお困りごと対応

分散

MICE

★ 誘致・創出

SDGs for MICE

スポーツMICE

観光インフラ

Osaka Free Wi-Fi

案内所の運営管理

コールセンター

自主財源

大阪楽遊パス(Eチケット)

ライセンス・広告

賛助会員

オフィシャルパートナー

観光関連事業者支援

飲食事業者応援事業

■ 瀬戸内との連携により相乗効果を誘発



瀬戸内は、日本有数の自然景観を有し、瀬戸内クルーズや瀬戸内国際芸術祭など世界から人を集める潜在能力が高いエリア

関西のポテンシャル

スポーツ・健康

- ◆スポーツイベントツーリズム
 - ・スポーツ・文化ダボス（2017）
 - ・ラグビーワールドカップ（2019）
 - ・オリパラキャンプ（2020）
 - ・ワールドマスターズ（2027）
- ◆予防（先制）医療と連携した健康長寿
 - ・アンチエイジングな暮らしを支えるヘルスケア

文化力

- ◆文化イベント
 - ・スポーツ・文化ダボス（2017）
- ◆文化芸術創造都市（アーティスト・イン・レジデンス）
 - ・外国人芸術家を受け入れ
- ◆オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラム
- ◆食や伝統芸能の発信
- ◆観光インバウンドの促進（クールジャパンやおもてなしの魅力）

関西の強み

- ▶人口2000万人→数多の優れた人材を輩出
- ▶最先端イノベーション地域
 - ・東大阪を中心とするものづくり「まいど1号」等
 - ・創薬、医療機関、健康食品等の産業基盤と大学・研究機関の集積
- ▶世界遺産
 - ・古都京都・奈良の文化財
 - ・紀伊山地（熊野古道）
- ▶スポーツの聖地
 - ・甲子園球場・花園ラグビー場

科学技術イノベーション

- ◆ライフ・グリーンイノベーション
 - ・革新的創薬、医療機器開発
 - ・再生可能エネルギーやエネルギーマネジメントシステムの開発
- ◆関西から「リサーチ・イン・ジャパン」を発信
 - ・海外研究者の招聘

人材力

- ◆民間力の活用
 - ・国際バカロレア、理数、英語教育
- ◆グローバル化やICTへの対応
 - ・特別支援教育などの質の高い教育

関西元気文化圏

Spring・8.SACLA
播磨科学公園都市

神戸医療産業都市
スパコン「京」

関西国際空港

アジアへ
世界へ

古都京都
(世界遺産)

けいはんな学研都市

花園ラグビー場

古都奈良
(世界遺産)

熊野古道
(世界遺産)

北海道

東北

東京

東海

九州

日本全体の活力源

地球力を一致団結
関西発の夢ビジョン「KANSAI」

(世界に向けた競争力 いきいき関西から文化力)

鉄道延伸計画

IR開業に向け、夢洲への鉄道延伸計画（JR桜島線、京阪中之島線）の早期決定または代替手段（ゴンドラ、水上輸送等）の検討や、北陸新幹線延伸工事の早期着工が強く求められている

■ 路線図（想定含む）



■ 鉄道延伸の動向（構想段階のもの、想定含む）

時期	路線・区間
2028年	大阪メトロ中央線支線開業 (仮)森之宮新駅開業
2031年春	なにわ筋線（関空アクセス鉄道）開業
2031年	阪急新大阪・なにわ筋連絡線開業
2033年	大阪モノレール 門真市～瓜生堂間開業
2036～2046年	北陸新幹線 新大阪～敦賀間開業
2037～2045年	リニア中央新幹線 名古屋～新大阪間開業

北陸新幹線開業以降、北陸エリアから関西エリアへの進学・就職は低下傾向 ⇔ 関東は上昇

北陸と関西の繋がりが一層希薄化する懸念有

(出典)「Beyond EXPO2025～万博後の大阪の未来に向けて～ 骨子(案)」より抜粋

瀬戸内における船舶航路と水都大阪の連携

大阪ベイエリアのハブ機能確立と港湾インフラの充実により船舶による富裕層の来阪を促進



R YACHT (R YACHT (株) HPより) スーパーヨット (SYLジャパン (株) HPより)

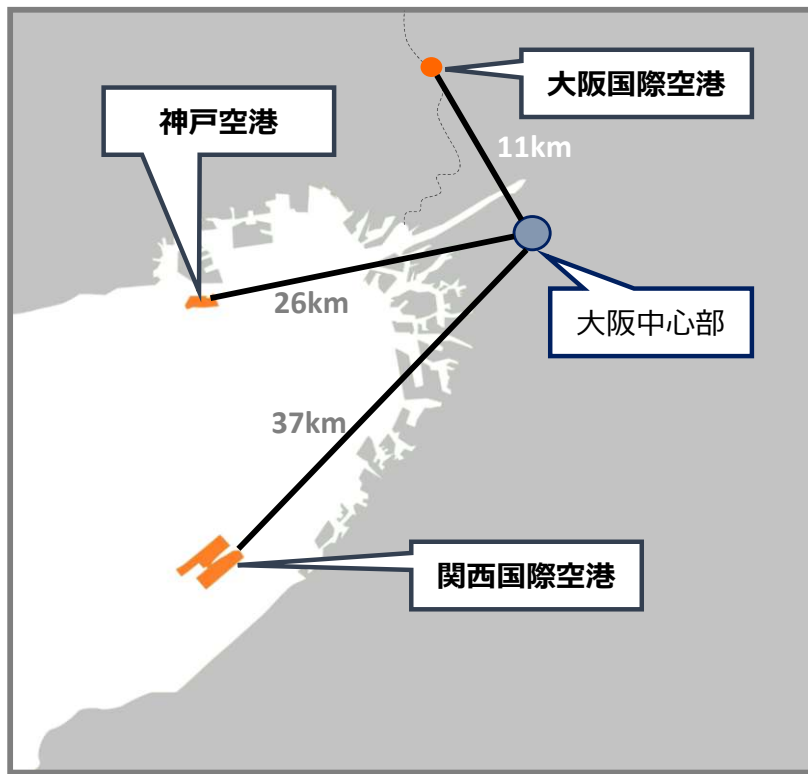
guntû (guntû公式HPより)

これまでの経過と今後の予定

- 2017秋～ 『guntû』 せとうちクルーズ 定期運航開始
- 2025夏 『guntû』 大阪発着 特別航路運航 2航路就航
- 2026夏 『guntû』 大阪発着 特別航路運航 3航路就航 (予定)
- 2027秋～ 『R YACHT』 分譲型クルーズ就航 (大阪寄港) (予定)
- 2030年 大阪IR開業 (予定)
- 2030年～ クルーズ船による大阪発着かつ定期での瀬戸内周遊 (予定)



3空港の概要



アジアの主要空港の容量拡大

アジアの主要空港	容量	容量拡大の動き
仁川空港 (韓国)	約10,600万人	24年度第4滑走路及び第2旅客ターミナル拡張完了
チャンギ空港 (シンガポール)	約13,500万人	2030年 第5旅客ターミナル完成予定
羽田空港 (2024年)	8,590万人	2030年代半ば 第5滑走路新設予定
成田空港 (2024年)	3,975万人	2029年3月 B滑走路延伸及びC滑走路供用開始

	関西国際空港	大阪国際(伊丹)空港	神戸空港
設置・管理者 運営権者	新関西国際空港(株) 関西エアポート(株)	新関西国際空港(株) 関西エアポート(株)	関西エアポート神戸(株)
開港日	1994年9月4日	1958年3月18日※ ※「大阪空港」として開港	2006年2月16日
滑走路	3,500m×1本 4,000m×1本	1,828m×1本 3,000m×1本	2,500m×1本
2024年 総旅客数	3,065万人 国際 2,392万人 国内 673万人	1,516万人	358万人
運用時間	24時間	7:00~21:00	7:00~23:00
年間発着枠	23万回	13.5万回 (370回/日)	2.9万回(80回/日)
役割分担 の考え方 (2005.11 関西3空港懇談会にて航空局より説明し了解)	<ul style="list-style-type: none"> 西日本を中心とする国際拠点空港 関西圏の国内線基幹空港 国際線は関西国際空港に限定 	<ul style="list-style-type: none"> 関西圏の国内線の基幹空港 環境と調和した都市型空港 	<ul style="list-style-type: none"> 神戸市及びその周辺の国内航空需要に対応する空港
今後の方向性 (2024.7.15 第14回 関西3空港懇談会にて取りまとめ)	<ul style="list-style-type: none"> 2030年代前半を目途に、年間発着回数30万回の実現を目指す 1時間あたりの航空機処理能力を最大60回へ引き上げ (2025年3月から) 淡路島上空新ルート (2025年3月から) 	-	<ul style="list-style-type: none"> 新たな国内線ターミナル運用開始時を目途に、国内線は最大発着回数を120回/日に拡大する 淡路島上空新ルート (2025年3月から) 国際チャーター便は2025年万博時から運用可能に 2030年、最大40回/日の国際定期便の運行開始

2024年 航空旅客数 (アジア地域)

順位	4位	9位	10位	12位	13位	15位	16位	20位	22位	26位	29位	30位	61位	82位	167位	443位
空港名 (都市名)	羽田	デリー	上海	広州	仁川	シンガポール	北京	バンコク	深圳	クアラルンプール	成都	ムンバイ	成田	関西	伊丹	神戸
利用者数	8,590	7,782	7,678	7,636	7,121	6,765	6,736	6,223	6,147	5,710	5,490	5,482	3,975	3,065	1,516	358

※単位：万人 (出典)「ACI WORLD- 2025Annual World Airport Traffic Report」より

羽田・成田 計 12,565万人

関西・伊丹・神戸 計 4,936万人

日本の観光ショーケース事業

1 事業目的

2030年のIR開業（予定）を見据え、国内外の観光客を日本各地に送客する仕組みを構築し大阪に大きな経済効果を生み出すとともに、その効果を全国に波及することにより国際観光文化都市としての大阪の魅力を高める



2 取組内容

地域に根差した高付加価値かつ魅力的な資源を有する全国各地の自治体と連携し、大阪とそれらの自治体をいくつかのテーマに分けて結び付け情報発信することにより、インバウンド観光客に対し大阪を起点とした満足度の高い日本全国の旅行体験を提案

3 事業効果

①ゲートウェイ機能の強化

→ 都市のハブ機能（交通インフラ、経済活動、情報等）を高める取組みの一つとして、同事業により大阪に全国の観光情報を集積し、インバウンド観光客の目的地・経由地としての役割を果たすことにより、ゲートウェイ都市としての機能向上に寄与する。

②全国への送客・経済効果の波及

→ 大阪府内はもとより関西観光本部と連携し関西への周遊、そして日本各地への周遊を促進。ハブ都市として大阪が大きな経済効果を得るだけでなく全国に効果を波及させる。

③日本の伝統・精神文化を発信

→ 全国各地に根付く歴史・伝統・文化を発信し、日本の魅力を国内外に伝える牽引役となる。

エリア内の周遊促進
(大阪市内、大阪府全域)

関西圏内の周遊促進
(2府4県+近隣県)

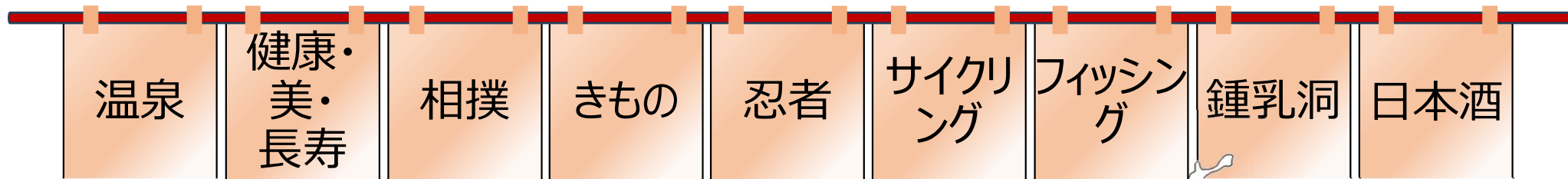
日本全国への送客

- ・テーマに基づき各地の魅力をPR
- ・広域連携のハブとして発展

【参考】大阪IR基本構想（2019年12月）※抜粋（P25）

①大阪・関西・西日本をはじめ、日本各地との連携による観光客の送り出し、②大阪・関西の強みを活かしたニューツーリズムの創出
⇒「大阪IR基本構想」においても、日本の観光ショーケースの送客機能、経済波及の効果が期待されている。

～日本列島 大航海時代 観光は新しいステージへ！～



意義：日本の観光立国化に貢献、地方創生に寄与、地域の魅力伝承



温泉ツーリズム推進協議会
熱海市、加賀市、白浜町、
松江市、松山市、別府市
(6自治体)



健康・美・長寿推進協議会
田村市、山ノ内町、多気町、
京丹後市、泉大津市、泉南市、
神石高原町、竹田市
由布市、伊仙町、北中城村
(11自治体)



- ・日本は狭い国土に観光コンテンツが凝縮
- ・周遊に便利な陸海空の交通インフラ整備



大阪から日本各地の魅力を発信
(2025年万博、2030年IR開業)



日本が世界に誇る唯一無二のコンテンツを万博会場で発信

◆温泉



◆健康・美・長寿



◆相撲



◆忍者



日本が世界に誇る唯一無二のコンテンツを万博会場で発信

◆空手



◆着物



◆お遍路



デジタルトラベルゾーンを万博会場に設置し、日本各地の魅力を発信
全国58自治体で高画質動画を撮影し、LEDビジョンとVRルームで半年間放映



DIGITAL TRAVEL ZONE

その場に
行ったかのような
旅行体験ができる!
You can have a Digital Travel
experience as if you were there!

デジタルトラベルゾーンとは?

日本全国の自然・文化・アクティビティなどを、ルーム型LEDビジョンやVRゴーグルで、まるで現地にいるかのように体験できるゾーンです。



市内ベイエリア（咲洲・築港・舞洲・夢洲）の活性化

成長可能性が最も高いエリアである夢洲をはじめ、咲洲、舞洲、築港地区及びその後背圏を含め各エリアの役割やエリア間の連携方策等を整理し新たなベイエリアの将来像を描く必要がある



関西国際空港
年間発着回数30万回
(2030年代前半予想)



神戸空港
国際定期便の運用最大40回/日
(2030年前後)



出典：神戸市ホームページ

**大阪IR
(2030年秋頃)**



**大阪・関西万博
(2025年)**



出典：2025年日本国際博覧会協会

**夢洲第2期 開発
(万博跡地)**



画像提供：大阪都市計画局

**天保山客船ターミナル
(2024年5月～)**



出典：大阪市ホームページ

スーパーヨット等誘致



画像提供：©SYLジャパン株式会社

**THE JEWELRY
(2025年4月10日開業)**



ユニバーサルツーリズム



■ユニバーサルツーリズムの推進に関連する情報発信

・イベント情報、車椅子旅行プランの作り方など

■モデルコースの造成と発信

・鶴橋・天王寺コース、万博記念公園エリアコース、大阪城・梅田コース、大阪港・USJコース、難波・新世界コース

■大阪府域の観光施設における「心のバリアフリー認定」の推進

・認定件数推移 2023年度9件⇒2024年度88件



障がいをもつ方がより旅行しやすい環境の整備

大阪版UTプラットフォームの構築に向けての検討

・行政や関連事業者と連携し、さまざまな障がいを持つ方による大阪を目的地とした旅行を促進

ペットツーリズム



■ペットツーリズムの推進に関連する情報発信

・イベント情報、ペット同伴の宿泊旅行プランの作り方など

■モデルコースの造成と発信

・天王寺エリア、中之島～心斎橋エリア、箕面コース、大阪南部（岸和田～泉佐野）エリア、うめきた（グラングリーン大阪）エリア
・YouTuberによる上記モデルコース体験動画による発信

■大阪・関西万博でのイベント参画



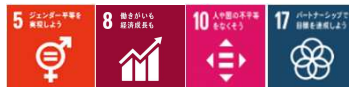
ペットと一緒に
旅行の思い出をつくる

ペットフレンドリーな都市・大阪のブランディング推進

ペットフレンドリー施設情報の発信、マナー啓発イベントの実施等

・ペットフレンドリーな都市としての認知拡大、繁華街付近に住むペット飼育世帯へのマナー啓発による非飼育世帯とのトラブル回避

LGBTQツーリズム



■IGLTA2024世界総会大阪のレガシー継承

・IGLTAとのネットワーク継続・拡大、大阪の情報発信など

■「LGBTQ+ツーリズム推進協議会」の運営

・海外LGBTQツーリストの手配を請け負う国内DMCの創設・育成

■マーケティング調査の実施

・大阪市内のゲイバー等の協力によるマーケティング調査及びLGBTQツーリズム推進協議会への調査結果の共有・分析等



アジアNo.1のLGBTQフレンドリー都市へ

IGLTA世界総会開催のレガシーを活かして国内をリード

・国内において最も精力的にLGBTQツーリズムに取り組んできた経験と実績を活かしたLGBTQツーリストの更なる誘致

留学生支援



■留学生誘致

・海外在住者に対する大阪での生活に関するお得情報の提供

■留学生支援

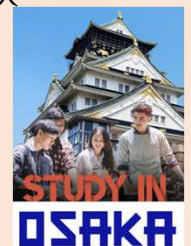
・外国人留学生EXPOの開催

■留学生活用

・ボランティア活動や観光事業における検証作業など

■留学生就労

・就職支援イベントの紹介など

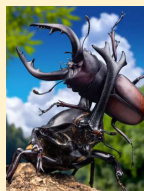


多くの留学生が大阪に集う「グローバル人材のハブ 大阪」の実現！

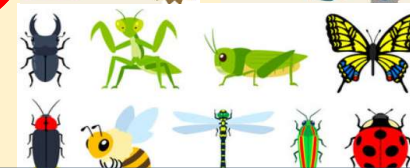
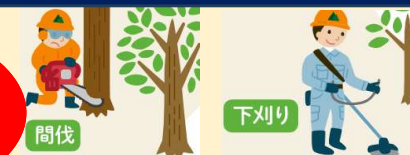
大阪版UTプラットフォームの構築に向けての検討

・産官学民の連携組織「留学生支援コンソーシアム大阪」で4部門（誘致・支援・活用・就労）計16のアクションプランを推進中

自然循環（動・植物）の保全が日本の未来を変える・・・



山林・農業 6次産業化



スタートアップ企業



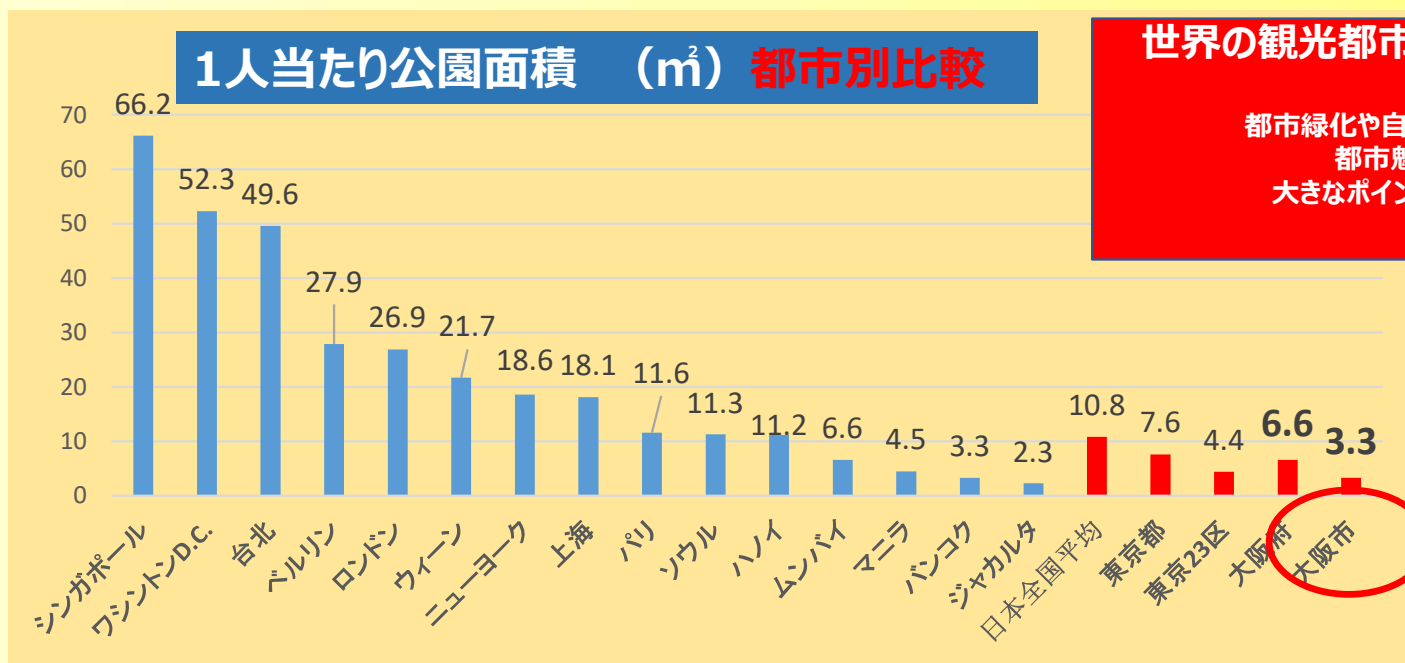
都市緑化・森林譲与税
国産材の利用促進



大阪のみどりの取組み 2030年「国際観光文化都市・大阪」の実現に向けた取組みの推進 ～世界有数の観光都市にふさわしい環境整備～

《都市公園面積》

■ 諸外国主要都市に比べると、一人当たり都市公園等面積は日本は低い状況にある。



世界の観光都市は、さらに先を行く～

都市緑化や自然環境の利用が、
都市魅力向上の
大きなポイントになっている。

³⁵ データ: 国土交通省 HP https://www.mlit.go.jp/toshi/park/content/01_R02.pdf
(ワシントン DC (2007 年)、ベルリン (2007 年)、ロンドン (1997 年)、ウィーン (2003 年)、ニューヨーク (2007 年)、
パリ (2009 年)、ソウル (2007 年)、日本全国平均 (2022 年)、東京 23 区 (2022 年))
Siemens AG HP https://w1.siemens.com.cn/userfiles/AGCI%20Report_EN.pdf
(シンガポール (2009 年)、台北 (2009 年)、上海 (2008 年)、ハノイ (2008 年)、ムンバイ (2009 年)、
マニラ (2007 年)、バンコク (2007 年)、ジャカルタ (2008 年))

GRAND GREEN OSAKA (グラングリーン大阪)

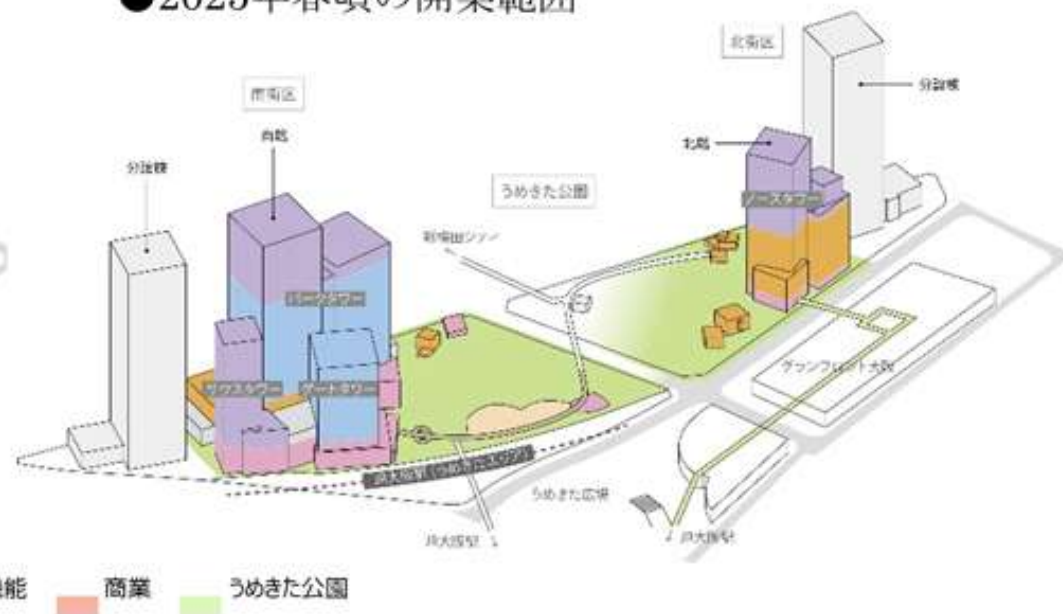
グラングリーン大阪

- ・「グラングリーン大阪」は、オフィス、ホテル、中核機能施設、商業施設、都市公園、住宅を有する複合施設
- ・先行まちびらき(2024年9月6日)では、うめきた公園の一部(サウスパークの全面・ノースパークの一部)、北館のホテル「キャンピーbyヒルトン大阪梅田」、商業施設「SHOPS & RESTAURANTS」、中核機能施設「JAM BASE」がオープン
- ・南館は2025年3月オープン(「TimeOutMarket」等)、うめきた公園後行工区(ノースパークの一部)は2027年春頃に開業予定

●2024年9月6日の開業範囲



●2025年春頃の開業範囲



大阪の都市緑化 <御堂筋・新たなウォークブルエリアに向けて>

「大阪のまちづくりランドデザイン」（2022年12月～）



成長・発展をけん引する拠点エリアを形成

1) 世界で存在感を発揮する拠点エリア

御堂筋・周辺エリア <高質で風格ある大阪のシンボルストリート>

大阪のシンボルストリートである御堂筋を中心に、業務機能の高度化やビジネスサポート機能などの導入による国際レベルのビジネス地区の形成や質の高いにぎわい機能の導入による、歩いて楽しい空間形成を図るとともに、御堂筋を人中心のストリートへ空間再編することにより、人・モノ・資金・企業・情報といった都市資源を呼び込み、交流の促進、新たな魅力や価値の創出や御堂筋のにぎわいを周辺へ拡充し、高質で風格のある拠点エリアの形成をめざします。

2037年に向けて継続実施

■大阪の都市緑化

- ・大阪のシンボルストリート御堂筋のシンボルイヤー（2037年）に向けみどりの空間創出、価値向上を提唱
- ・ビジネスインキュベーションの場として多くの方が集う拠点創出に向けて提案
- ・住民、観光客にとって安全安心、快適な観光都市の実現へ

海外の都市緑化事例



今後の取組方針（案）

■推進体制の構築

大阪府・大阪市・経済団体・大阪観光局・管理団体による「推進体制の明確化」

■課題整理

- ① 地域ごとの合意形成
- ② 物流・緊急車両通行
- ③ 植樹・育樹
- ④ 維持・管理法・ボランティア
- ⑤ 費用負担 ※維持管理費（例：都市計画税、宿泊税、入国税活用など）
- ⑥ 災害時の避難地・対応機能

大阪府・大阪市・堺市では
2050年に向けて
大阪全体のまちづくりの方向性を計画

2037年御堂筋100周年 ※イメージ



大阪の都市緑化
(御堂筋)
段階的に緑あふれる空間へ
2037年なんばから心齋橋エリア
2050年心齋橋以北



GRAND GREEN
OSAKA
2027年度全面開業

JR大阪駅 (キタ)

約4km

先行側道歩行者
空間化エリア
(緑化検討エリア)

難波 (ミナミ)

高付加価値旅行者の誘客促進

Connections Luxury Asia Pacific2026~28の開催

Connections Luxury Asia Pacific 2026 概要

日程：令和8年10月4日～7日（3日間開催） ※**宿泊税充当事業**
 場所：ウォルドーフ・アストリア大阪等 複数会場
 ・「Jacobs Media Group」が主催する3日間の高付加価値旅行の商談イベント
 （大阪は3年連続開催）
 ・参加者 バイヤー：世界各国から65名
 セラー：Asia Pacific地域から65名



【1か年当たりの経済効果（想定）】

約1.2億円（参加者宿泊費等による消費）+α（その他消費）

【その他期待される効果（一例）】

- ・高付加価値旅行の目的地としての認知拡大
- ・大阪市内におけるラグジュアリーホテルの開業促進
- ・大阪府域の観光資源の質的向上
- ・在阪事業者のラグジュアリー・ツーリズム市場への参画支援



海外の高付加価値旅行商談会への参加（予定含む）

訪問都市	参加商談会・イベント ※変更可能性有	開催時期
アジア主要都市セールス （北京、上海、香港、 深圳、ソウル、台北、 シンガポール、ジャカルタ）	・Connections Luxury Europe （バルセロナ）	4月
	・Connections Luxury Asia Pacific （大阪）	10月
	・Connections Luxury Americas, West（ウエストハリウッド）	11月
	・Connections Luxury Middle East （ドーハ）	2または3月

海外の高付加価値旅行商談会参加の目的

- ・クローズドマーケット内でのネットワーク構築
- ・高付加価値旅行の目的地としての認知向上



海外の高付加価値旅行者層をターゲットとした事業

メディカル&ヘルスツーリズム

【メディカル&ヘルスツーリズムの目的】

- ・大阪の医療受入体制の認知拡大
- ・高付加価値旅行者による利用促進
- ・高付加価値コンテンツの利用促進

取組方針

訪日外国人サービス

- ・大阪・関西国際医療プラットフォームとの連携
 - ▷ 貢献プラットフォーム（先端・高度医療）
 - ▷ 協カプラットフォーム（ウェルネス・美容・アンチエイジング）
- ・海外市場（利用者）への情報発信
- ・高付加価値旅行者による利用促進



LGBTQツーリズム

【LGBTQツーリズムのポテンシャル】

- ・対象者による観光消費は世界で約23兆円
- ・消費単価が高い（観光消費全体の約16%）
⇒ 対象者は旅行者全体の約10%

取組方針

IGLTA世界総会開催レガシーの継承

- ・IGLTAを活用したプロモーション
- ・ゲイバーでアンケート調査の実施
- ・国内機運醸成（国内における都市間連携）
- ・LGBTQ+向けホテルの誘致活動
- ・LGBTQ+向けイベントの誘致活動

スーパーヨット等受入環境整備

【スーパーヨットのポテンシャル】

- ・約100～200億米ドル程度（2024年）
- ・世界で約10,000隻以上が存在し、継続して増加中
⇒ 直接的な消費額は1隻あたり1日約200万円

【参考：スーパーヨット市場規模（2024）】
 ・Fortune Business Insights…約100.5億米ドル
 ・Intellectual Market Insights…約200.5億米ドル
 ・Coherent Market Insights…約216億米ドル

取組方針

スーパーヨット等誘致に向けた環境整備について、大阪港湾局との継続した協議・検討

F1を含むモータースポーツの誘致

取組方針

モータースポーツについての理解促進と誘致に向けた機運醸成について、「大阪モータースポーツ推進協議会」委員の助言を踏まえながら推進



昨今来阪数が増加している欧米豪からのインバウンドを中心に市内のナイトライフの充実が求められていることに加え、IR施設から市内に経済効果を波及させるために早急に推進体制の構築が必要

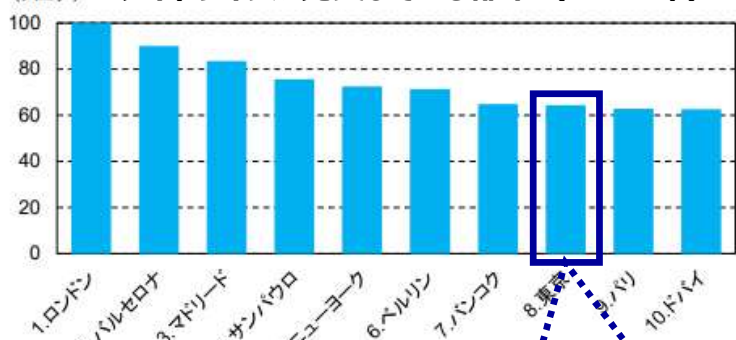
経済効果の波及

夏の暑さ対策

ライフスタイル見直し

ナイトタイムエコノミーについて（世界の状況）

ナイトライフが充実している都市（2024年）



（出典）（株）日本政策投資銀行「地域へのナイトタイムエコノミー定着に向けて」より抜粋

ナイトタイムエコノミー市場規模（一例）

国・都市	調査年度	NTE市場規模	対名目GDP比	雇用者数	備考
（参考）海外の国や都市による試算					
英国	2024	1,539億ポンド(30.8兆円) ¹⁵ ※1ポンド200円で計算	5% ¹⁶	211万人 ¹⁵	飲食・娯楽・宿泊に関するセクターを試算
ロンドン	2014	263億ポンド(3.7兆円) ¹⁷ ※1ポンド140円で計算	-	72万人 ¹⁷	
ニューヨーク	2016	191億米ドル(約2.1兆円) ¹⁸ ※1米ドル110円で計算	-	20万人 ¹⁸	フードサービス、バー、クラブ、ダンス、スポーツ・レクリエーションの5セクターを試算
シドニー	2023	57億豪ドル(約0.5兆円) ¹⁹ ※1豪ドル95円で計算	-	4万人 ¹⁹	飲食・娯楽に関するセクターを試算

（出典）（株）日本政策投資銀行「地域へのナイトタイムエコノミー定着に向けて」より抜粋

- ロンドン（2014年）
263億ポンド・・・**3.7兆円**
※1ポンド140円で計算
- NY（2016年）
191億米ドル・・・**約2.1兆円**
※1米ドル110円で計算
- シドニー（2023年）
57億豪ドル・・・**約0.5兆円**
※1豪ドル95円で計算

東京の取組状況

上野動物園の夜間営業（期間限定）

上野動物園が夜9時までの「夜間開園」へ、今年5月と6月に実施。通年実施も検討へ。小池知事「ナイトタイムを生かす」



（引用）日テレNEWS 2026年1月13日

東京都のナイトタイム観光戦略

戦略的なナイトタイム観光の推進 ～もっと楽しい東京の夜～

（引用）東京都「2050東京戦略」より

大阪版ナイトタイムエコノミー戦略の策定（提言）

ナイトタイムエコノミー推進のロードマップ（案）

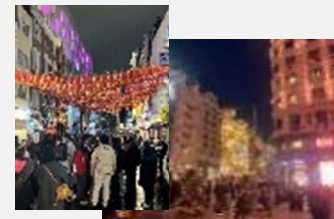
2026年

- 商店街、百貨店等に対するナイトタイムにおける動向及び意識調査
- 難波エリア、夢洲におけるナイトマーケット等民間主導による社会実験の実施・検証



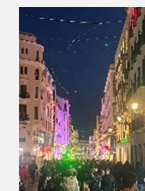
2027～2029年

- 民間主導によるナイトタイムエコノミーの継続実施
- ナイトタイムエコノミー推進体制の構築

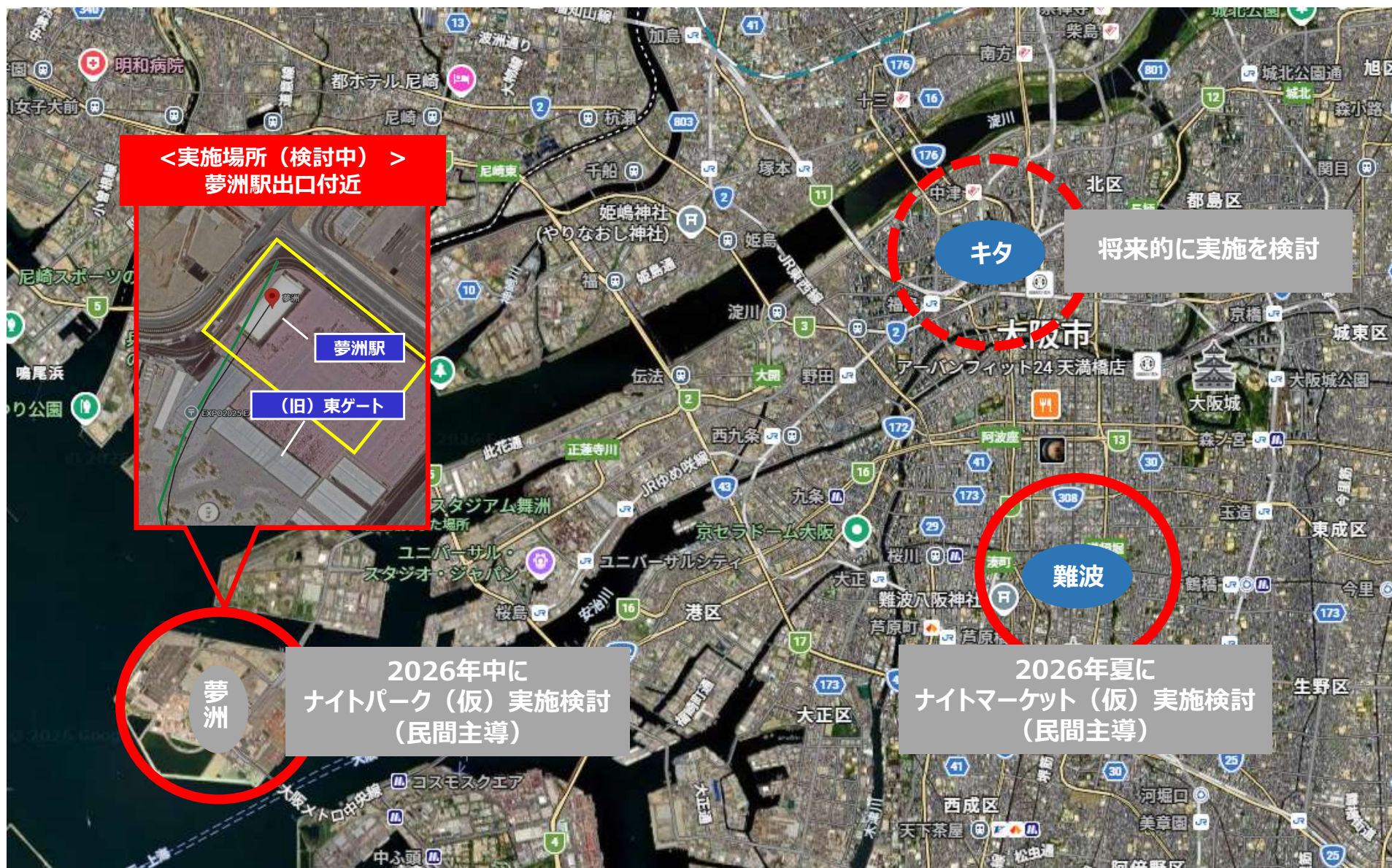


2030年 IR開業

- 難波、夢洲を中心とした大阪版ナイトタイムエコノミーの推進
- 実施対象エリアの拡大



難波、夢洲、キタエリアにおけるナイトタイムエコノミーの実現へ



大阪MICE誘致戦略の目標達成に向けた取組みの推進

2025年万博を契機としてMICE開催地大阪をアピールするとともに、IR開業に向けMICE関連事業者とともに大阪の発展に寄与するMICEを誘致

⇒2027年までにアジア・大洋州地域トップ10、2032年度までにトップ5の国際会議開催件数を旨す（大阪MICE誘致戦略）

※参考：2024年ICCA国際会議統計 アジア大洋州地域 1位：シンガポール144件、4位：東京97件 11位：京都49件 16位相当：大阪31件

■「大阪MICE誘致戦略」に基づいた積極的なMICE誘致の促進

大阪観光局がヘッドクォーターとなり、MICE関連事業者と総力を挙げて案件を発掘し、誘致活動を実施

オール大阪でのMICE誘致体制

MICE関連事業者と経済団体によるMICE誘致合同チームである大阪MICE誘致戦略委員会（通称「**Team OSAKA MICE**」）による取組みを強化し、更なるMICE誘致を推進

【構成団体】大阪のMICE主要施設、ホテル、PCO、大阪商工会議所、関西経済連合会、関西経済同友会

■主催者に選ばれるための環境整備とブランディング

サステナブルな運営の推進

・業界を横断したサステナブルガイドブックの利用促進



・日本初となる SDGs for MICE 評価制度の実施



ステークホルダーとの連携

・大阪MICEビジネスアライアンスメンバーとの関係構築、強化

・エリアMICEの取り組み強化（中之島、梅田、ベイエリア、KIXりんくうなど）



国内外PRの強化

・主催者が最新の情報を収集できるよう大阪観光局MICEサイトを随時アップデート

・大阪ならではのユニークベニューを継続開発中



■万博開催期間中、今後のMICE誘致に向けた営業活動

万博開催を契機とした日本・大阪への誘致活動

- 主な万博パビリオンへの営業
- JAPAN MICE EXPO（商談会・プレゼンイベント）の継続開催
- MICE Professional Meeting(万博史上初、会場内でのMICE関係者による交流会)を実施

大阪観光局が積極的に活動

MICE開催地としての大阪の認知度向上



安全・安心、且つ快適な旅行が楽しめる環境の整備

安全・安心に 旅行ができる環境整備

災害時の対応

- ・観光案内所、観光局SNS・Webサイトでの情報発信
- ・大阪府市と連携した観光客対応
- ・観光事業者向け「災害時初動対応マニュアル」の更新



急患時の対応

相談時における観光案内所や大阪コールセンターでの1次対応

→大阪メディカルネットの紹介（大阪府健康医療部）

安全・安心な観光地としての取組み

商店街や飲食店からの情報収集、大阪府警察への情報提供、安全・安心な観光地維持のための意見交換

快適に

旅行ができる環境整備 (宿泊税充当事業)

高機能な観光デジタルマップ

府内のトイレ及び大型荷物の預け先や輸送サービスに係る施設の位置や情報が簡潔に分かる観光デジタルマップの構築・拡充・運用と来阪外国人旅行者が特に多いエリアにおける観光客の利用が可能なトイレ等の調査・開拓(大阪府・大阪観光局)

手ぶら観光

手荷物配送サービスを紹介するWebページを開設し運営するとともに、海外OTAなどと連携した手ぶら観光プロモーションを実施(大阪府・大阪観光局)

混雑の分散

時間の分散

ナイトタイムエコノミー(※)の推進

※ナイトタイムエコノミーの定義（観光庁）
⇒ 18時から翌日朝6時までの活動

- ・観光客へのニーズ調査
- ・人材不足、働き方の多様性など受入環境の状況把握
- ・ステークホルダーを巻き込んだ推進体制の構築
- ・大阪DCで造成した自然・文化・飲食にまつわるコンテンツのナイト利用を可能にするための事業者への働きかけ



早朝観光の魅力発信

- ・早朝に楽しむことができるショッピング、アクティビティ等の情報発信



定点カメラによる混雑状況の可視化

- ・スムーズで快適な観光の提案
- ・各施設の混雑予測情報の提供に向けた検討

エリアの分散

大阪市内・堺エリアゾーニング事業

各エリアの特性に応じた魅力の磨き上げによる混雑外エリアへの誘客



大阪市・北加賀屋エリア



堺・大仙公園エリア

府内市町村コンサル事業

知られざる大阪の魅力を活用した体験プログラムによる誘客

二次交通の利用促進

アクセスの向上による府域周遊促進



関西2府4県での連携

大阪と各地の魅力あるコンテンツを結んだ周遊促進

観光ショーケース事業

大阪を起点に、魅力的なテーマに沿った府外への送客によるゲートウェイ都市機能の構築



- ・住民、観光客、観光事業者にとって快適な環境の整備
- ・観光需要の分散によるオーバーツーリズム回避

社会問題未然防止（オーバーツーリズム）について

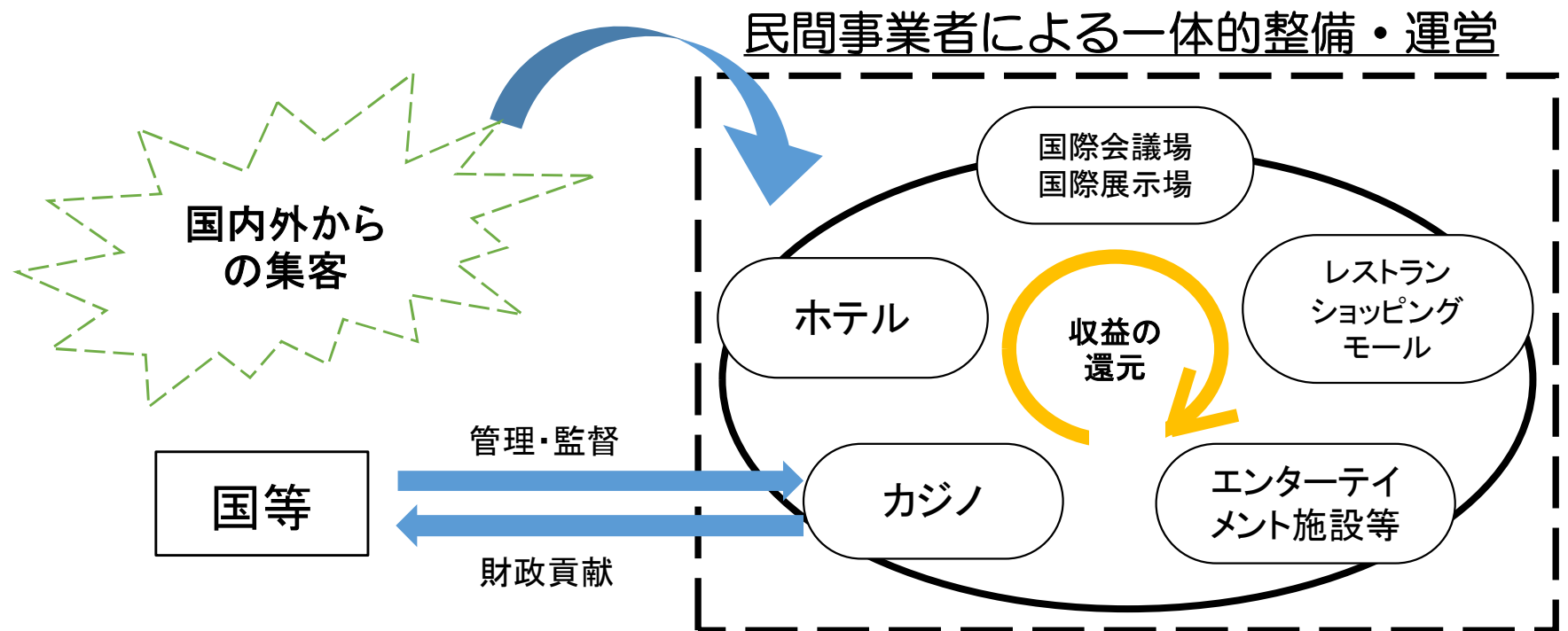
2026/2/4

「観光客の増加に伴う社会問題」の未然防止・抑制に向けて 対応一覧

課題	未然防止/課題	背景など	対策	実施のハードル	実施予定時期	
1	大型荷物問題	未然防止 大型スーツケース等による通行の妨げ ・手荷物預かり所がオーバーフローして、観光地等への持込みが増え、通行障害や事故などが発生する可能性 ・夜間のスーツケースの移動による、騒音問題が発生する可能性 ・泉州地域等への観光客立寄り阻害要因として、大型荷物を所持していることへのハードルが考えられる	手荷物預かり所の拡充	・場所の確保 ・事業の採算性	2023/10～ 空港→宿泊施設 ・南海他「n・e・s・t 関西空港店」2023/10 設置 ・NEC 他「Travel Light」2024/10 開始 空港→宿泊施設/駅→宿泊施設 ・日本民泊協会「手ぶらくん」2023/10 開始 駅→宿泊施設 ・JR 西日本「pikuraku PORTER」2024/3 開始 ・ヤマト運輸なんば駅前営業所 2024/8 開設 駅→宿泊施設/宿泊施設→駅 ・Crosta 新大阪キラーサービス 新大阪→博多 ・「新幹線キラーサービス」2024/7 開始	
			配送サービスの拡充	・外国人のニーズ（ロストバゲージの懸念）	2023/10～	
			大型コインロッカーの拡充	・外国人にはキャッシュレス対応が必要（なんば地区は今年度中に基本的にキャッシュレス対応可能へ）	2024/3～	
			配送サービスの一覧化 等	・情報の時点更新	2026/2 本格稼働	・Web ページを開設し運営 ・海外 OTA などへのプロモーション
2	トイレ問題	未然防止 トイレ以外で用を足される恐れ ・公衆トイレの場所がわからないという直接の声はないが、今後、観光客が増えてきた際を見据えて、広報する検討の余地はあり	トイレマップ作成・周知発信 等	・情報の時点更新 ・民間施設トイレの観光トイレ化への理解	2026/2 本格稼働 2026 年度 拡充	・観光デジタルマップ構築・拡充・運用 ・コインロッカー情報等も掲載 ・来阪外国人旅行者が特に多いミナミ[2025 年度]、梅田・天王寺[2026 年度]エリア等における観光客の利用が可能なトイレ等の調査・開拓
			ミナミに特化したマナー啓発	・効果的手法の検討 ・地域の主体的な参画	2024/12	大阪ミナミ・道頓堀 OT 対策推進協議会： ・街頭スピーカーを利用したマナー意識の啓発・周知
3	ごみ問題	課題 食べ歩きゴミのポイ捨てによる美観毀損 ・道頓堀での食べ歩きは人気コンテンツの一つだが、ごみのポイ捨ても散見	スマートゴミ箱の展開	・費用面の負担方	2025/2	大阪ミナミ・道頓堀 OT 対策推進協議会： IoT ゴミ箱設置エリア拡大等事業 3 基追加設置
			各エリアの特性に応じた魅力コンテンツの磨き上げ（場所の分散） ピーク時をずらした魅力的なコンテンツの造成（時間軸での分散）		2026 年度 予定	・大阪デスティネーションキャンペーンアフターキャンペーン 2026/4～6 実施 ・「春の大阪『国宝』めぐり 2026」 2026/4～6 実施

IR（統合型リゾート）とは？

- 「カジノ施設」と「観光振興に寄与する諸施設」が一体となっている施設群
- カジノの収益により、大規模な投資を伴う施設の採算性を担保
- 民間事業者の投資による
 - ・集客及び収益を通じた観光地域振興
 - ・新たな財政への貢献



(出典)「第1回特定複合観光施設区域整備推進会議」資料よりIR推進局作成

【「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律」における定義】

カジノ施設及び会議場施設、レクリエーション施設、展示施設、宿泊施設その他の観光の振興に寄与すると認められる施設が一体となっている施設であって、民間事業者が設置及び運営をするもの

大阪IRのスケジュール

経過		内容
2023年	4月	区域整備計画の認定（国）
	9月	IR関連協定等の締結
2024年	9月	事業前提条件に基づく解除権の失効
	10月	IR準備工事の発注及び着手
2025年	4月	IR建設工事の発注及び着手

工程（想定）※		内容
2030年	秋頃	IR施設の開業

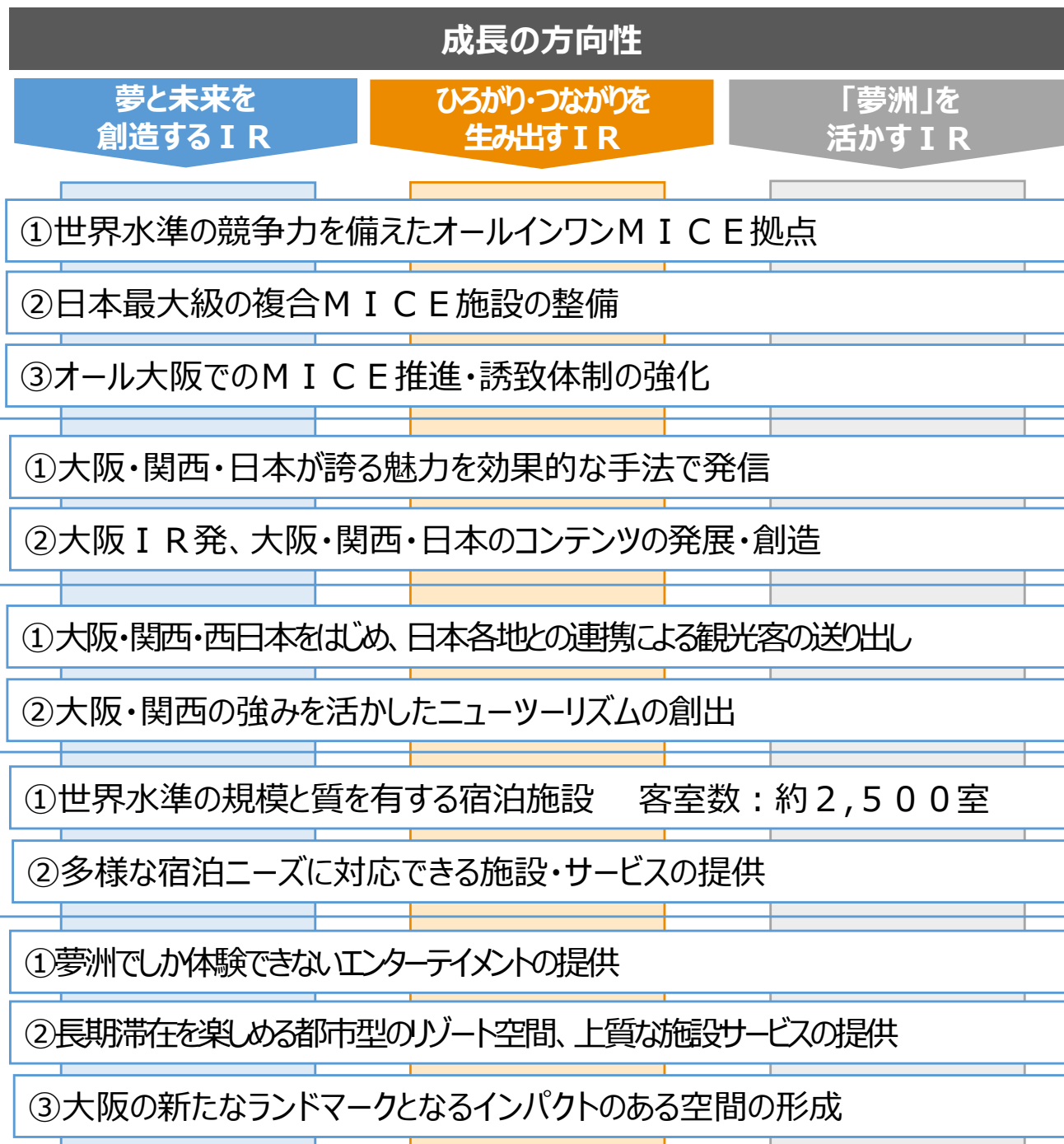
※ 工程が最も早く進捗した場合の想定



MGM大阪株式会社提供／転載禁止

大阪 I R の機能・施設

大阪 I R が有すべき機能・施設



(出典) 大阪府・大阪市IR推進局「大阪がめざすIRについて」より

夢洲まちづくりの方向性 ～国際観光拠点の形成に向けて～

夢洲まちづくりのイメージ

○ 土地利用の方針

【第1期 (70ha)】

統合型リゾート (IR) を中心としたまちづくり

魅力的なエンターテインメントの集積、国際競争力を有するMICE施設の整備やICT等最先端技術を活用したスマートなまちづくりによる国際観光拠点を形成

- 《導入施設》 ・ 国際会議場および展示施設
 ・ 魅力増進施設 (注1)
 ・ 送客施設 (注2)
 ・ 宿泊施設 等

【注1】

- ・ 我が国の観光の増進に資する劇場、演芸場、音楽堂、競技場、映画館、博物館、美術館、レストランその他の施設

【注2】

- ・ 各地の様々な観光情報の提供や来訪者の要望に沿った旅行の手配などを行う施設

【第2期 (60ha)】

万博の理念を継承したまちづくり

万博の理念を継承し、最先端の取り組みなどを進めるとともに、大規模なエンターテインメント・レクリエーション機能導入、第1期において創出されたにぎわいの継承などによりまちづくりを進めることで、第1期のまちづくりと合わせて国際観光拠点機能の更なる強化を図る。

- 《導入機能例》 ・ 最先端技術・研究などの実験・実証、情報発信機能
 ・ 宿泊機能
 ・ 大規模エンタメ・レクリエーション機能 等

【第3期 (40ha)】

第1・2期の取り組みを活かした 長期滞在型のまちづくり

第1、2期で創出・醸成されたエンターテインメントや最先端技術等により、健康や長寿につながる長期滞在型の上質なリゾート空間の形成

- 《導入機能例》 ・ 第1期及び第2期に導入される機能 (エンターテインメント、産業・ビジネスなど) の拡充
 ・ 長期滞在型リゾート機能
 ・ ウェルネスツーリズム 等

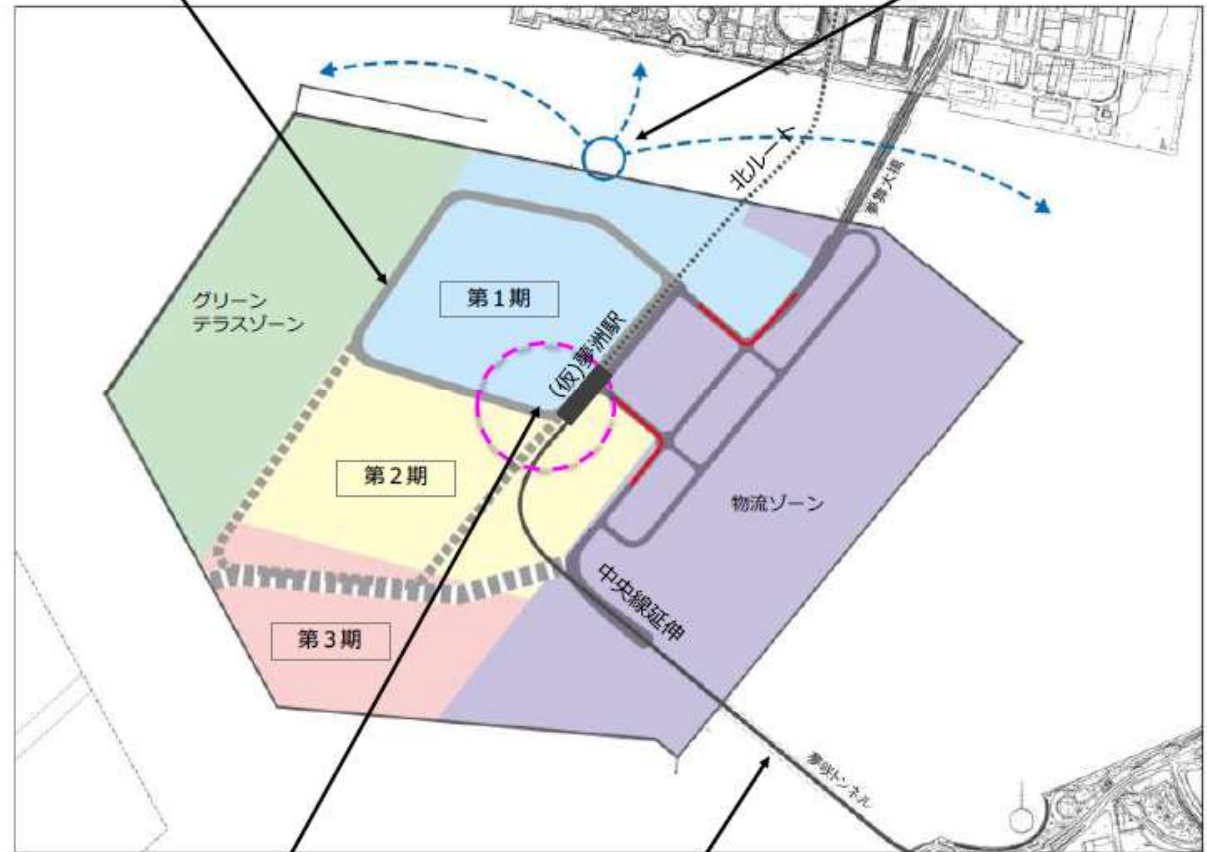
○ インフラ等の整備方針

【道路】

観光ゾーンの外縁部に整備することとし、第1期においては、北側の水際線 (臨港緑地) と建築物等による親水性の高い空間形成を可能とする位置に配置する。第2期以降については、開発時期に合わせ段階的に整備することとする。

【海上アクセス拠点】

関空はもとより、多くの他のエリアからのアプローチを可能とする海上アクセス拠点を、臨港緑地との一体性に配慮しながら北側水際線に整備し、来訪者の利便性の向上及び集客力の強化を図る。



【駅前空間 (駅前広場)】

夢洲の玄関口となる駅前広場を地下駅との連続性や夢洲内外からのアクセス拠点となること等に配慮するとともに、にぎわい交流の場として、アメニティの高い空間を整備する。

【鉄道】

港湾機能や国際観光拠点などを支える鉄道網の整備により、交通負荷の分散に寄与し、周辺道路交通等に与える影響の軽減を図る。※北ルートについては、第2期以降の段階的な土地利用の状況に応じ検討

I R施設の規模

I R施設の規模

区分	施設種別	延床面積	施設構成・規模
1号施設	国際会議場施設	約4.0万㎡	最大会議室 6,000人以上収容
2号施設	展示等施設	約3.3万㎡	展示面積 2万㎡ 関西イノベーション・ラボ
3号施設	魅力増進施設	約1.2万㎡	ガーデンシアター 関西ジャパンハウス 三道体験スタジオ ジャパン・フードパビリオン 関西アート&カルチャーミュージアム
4号施設	送客施設	約1.2万㎡	関西ツーリズムセンター バスターミナル、フェリーターミナル
5号施設	宿泊施設	約26.7万㎡	客室 約2,500室 レストラン、プール、フィットネス 大浴場、バンケット 等
6号施設	エンターテインメント施設	約1.5万㎡	夢洲シアター 約3,500席
	飲食・物販・サービス等施設	約32.7万㎡	飲食施設、物販施設、駐車場、エネルギーセンター 等
カジノ施設		約7.0万㎡	※うち、カジノ行為区画は総延床面積の3%以内
総延床面積		約78万㎡	

大阪IRのMICE施設（国際会議場/展示場施設）

国際会議場施設

◆施設の種類、規模

- ▶ MICE等主催者のニーズに応じて多用途に利用可能な会議室を一体的に配置し、国際会議の用に供する全ての室の収容人員の合計が概ね12,000人以上となる国際会議場施設を整備

区画の名称	会議室の区分	設置する会議室	面積
最大会議室	グランドボールルーム	6,000人以上を収容できる最大国際会議室	約6,550㎡
中小会議室	ボールルーム	中規模のボールルーム	約6,550㎡
	会議室	中・小規模の会議室	
合計			約13,100㎡

◆設置方針

- ▶ 中小会議室を一か所に配置することで、来場者の移動負荷の軽減のみならず、効率的なサービス提供可能
- ▶ 可動間仕切りを導入する事に加え、照明・空調設備、天井吊物機構等を充実させることで、多彩なイベントの同時開催にも対応
- ▶ 各国との首脳級会合、閣僚級会合等の重要な国際会議等に対応可能な機能を整備
- ▶ MICE施設内にMICE専用のキッチンを設置し、飲食ニーズを伴う多様なMICEイベントの同時開催に対応

◆運営方針

- ▶ 飲食サービスやエンターテイメントをはじめ、ウェルネスやサステナビリティを意識したプログラムなど、MICE来場者に喜ばれる様々なサービスを提供
- ▶ オールインワンMICE拠点の要となり、宿泊施設、飲食施設、エンターテイメント施設等の大阪IR内の各施設と連携し、来場者に付加価値の高いサービスを総合的に提供

展示等施設

◆施設の種類、規模

展示ホールの名称	面積・仕様				
	面積	ホール間仕切り	アンカーボルト	床耐荷重 (ピット部分除く)	高さ (梁下)
ホールA	約9,900㎡	可動式	打設可能	2t/㎡以上	8m以上
ホールB	約10,200㎡				
合計	約20,100㎡				

◆設置方針

- ▶ BtoBの展示会に加え、BtoCの見本市やフェスティバルなど様々なイベントの開催に対応
- ▶ 展示ホールごとに可動間仕切りを設置し、さらに、照明・空調設備、天井吊物機構、電源等を充実させることで、多彩なイベントの同時開催に対応
- ▶ 大規模なMICEイベントにおける一体利用を想定し、MICE施設に隣接して屋外イベントスペースを配置
- ▶ オンラインイベントの同時開催や、来場者の利便性に対応すべく、安定性・実用性の高い通信環境を整備

大阪IRの魅力増進施設/送客施設

魅力増進施設

◆日本の魅力の創造・発信

- コンテンツの種類・特性に合わせた5つの魅力増進施設の設置
- IR内の他施設や敷地全体を活用した日本の魅力の創造・発信
- 送客施設と連携した効果的な広域観光振興の促進

送客施設

◆日本観光のゲートウェイの形成

- 最新の観光情報を紹介する質の高いショーケース機能
- 旅行の企画・提案・手配をワンストップサービスで提供するコンシェルジュ機能
- 夢洲から大阪内外へのアクセスを強化する交通機能

魅力増進施設と送客施設の連携により 大阪IRから日本各地に観光客を送り出す

施設名称	種類	コンテンツ内容
ガーデンシアター	劇場	・ 伝統芸能に新たな表現手法を取り入れた革新的なコンテンツや体験型のイベントといった多彩なプログラムを提供
三道体験スタジオ	その他の施設 (伝統文化等の展示場)	・ 華道・茶道・香道等の日本の伝統芸道を先進的なテクノロジー等を用いた演出によって表現し、五感を通じた体験として提供
ジャパン・フードパビリオン	レストラン (飲食施設)	・ 大阪・関西の幅広く奥深い食文化の魅力を伝えるため、気軽に楽しめるフードホールから食の奥深さを味わえる高級店に至るまで多彩な飲食施設を配置
関西ジャパンハウス	その他の施設 (工芸体験・物販施設)	・ 工芸品の制作過程見学や工芸品の制作体験プログラム等、日本の伝統的な工芸文化の魅力に触れる機会を提供
関西アート&カルチャーミュージアム	美術館	・ 古典的な芸術作品からメディアアート等の現代的な作品まで幅広い作品を取り扱い、国内外の文化機関等と連携し、企画展やラーニング・プログラム等、幅広い文化体験の機会を提供

施設名称	機能	
関西ツーリズムセンター	ショーケース機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 映像型ショーケース (各地の魅力を伝える臨場感ある映像の投影) ・ 地域・テーマ別ショーケース (地域別・体験テーマ別の観光体験を紹介) ・ ポップアップ型ショーケース (自治体・DMO向けポップアップスペースの提供) ・ メディアウォール型ショーケース (観光情報に演出を施した画像や動画を配信)
	コンシェルジュ機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ AIコンシェルジュ (AIによる旅行相談端末) ・ 総合コンシェルジュ (対面型でサービスを提供する旅行相談窓口) ・ プレミアムコンシェルジュ (VIP向けの旅行相談窓口)
その他	交通機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ バスターミナル (関西ツーリズムセンターに併設) ・ フェリーターミナル
	多言語対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語・中国語・韓国語を中心とした文字表記及び対人の多言語サービスの整備 ・ ピクトグラムの表示、写真・動画の活用等による情報提供手法の工夫

大阪IRの宿泊施設/スマートなまちづくり等

宿泊施設

◆利用者需要の高度化・多様化に対応

- ▶ コンセプトや仕様に変化を加えたバラエティ豊かな客室を導入
- ▶ 最高級クラスの客室を整備し、富裕層の需要にも対応
- ▶ 多様なニーズに対応する複数の飲食施設を宿泊施設内に導入
- ▶ 滞在促進に寄与する付帯サービス（スパ・ジム等）の提供

◆日本有数の規模

- ▶ 総客室数約2,500室を整備
- ▶ 平均客室面積は約60～75㎡
- ▶ 全客室のうち約20%以上がスイートルーム
- ▶ スイートルームの平均客室面積は約105～150㎡

MGM大阪

◆様々な機能を備えるエンターテインメントホテル

- ▶ ブランド：MGM
- ▶ グレード：ラグジュアリー
- ▶ ターゲット：ビジネス客からレジャー客まで、幅広い層の来訪者

MGM大阪ヴィラ

◆客室ごとに専属スタッフを配置するVIP向け最高級ホテル

- ▶ ブランド：MGM
- ▶ グレード：スーパー・ラグジュアリー
- ▶ ターゲット：最もハイエンドの富裕層

MUSUBIホテル

◆幅広い層をターゲットとする多世代型アクアリゾートホテル

- ▶ ブランド：新ブランド
- ▶ グレード：アッパー・アップスケール
- ▶ ターゲット：ファミリー客から富裕層まで最も幅広い来訪者

スマートなまちづくり（環境負荷低減等）

◆運営時における取組み（エネルギー関連、ICT技術の活用）

- ▶ 効率的なエネルギー運用のためのエネルギー管理システムの導入
- ▶ 太陽光等、グリーンで再生可能なエネルギーの導入
- ▶ 高効率の設備機器及びエネルギー平準化設備等の先端技術の導入
- ▶ ICT技術の活用による安全・安心、快適で楽しいスマートなまちづくりの推進

◆施設整備（建設）時における取組み

- ▶ 再利用や再資源化しやすい建設資材の選定
- ▶ 低公害車の活用、排出ガス対策建設機械の採用等

ユニバーサルデザイン・多文化共生

多様な来訪者の様々なニーズに対応

◆多様な来訪者の受け入れ

- ▶ 多言語でのサービス・案内・情報提供、多世代が楽しめる施設・プログラムの提供

◆ユニバーサルデザイン

- ▶ 年齢、性別、国籍、文化、身体の状態等の違いにかかわらず、快適に時間を過ごすことができる施設計画・環境整備に取り組む

◆労働環境の整備、海外人材・障がい者等の多様な人材の受け入れ

- ▶ 多様な人材を受け入れ、活躍できる労働環境や人事制度を構築

多文化的な雰囲気創出

◆多様な文化への配慮、尊重による寛容と理解を促進するリゾート

- ▶ 文化的・宗教的な習慣や伝統を实践できる環境の提供
- ▶ 来訪者の文化的・宗教的祝日や伝統に対する従業員の理解を促進

フェアトレード

◆各種原材料の調達におけるフェアトレードへの配慮

大阪IRの来訪及び滞在寄与施設/カジノ施設

来訪及び滞在寄与施設

◆ 来訪及び滞在寄与施設の概要

- ▶ 大阪IRにおけるエンターテインメントの中心となる施設を設置し、ビジネス客からファミリー層まであらゆる人が楽しみ、大阪IRの象徴となるような国際的なエンターテインメント拠点の形成をめざす。
- ▶ 飲食、物販等において、多彩なコンテンツとサービスを提供し、デスティネーションとしての大阪IRの国際競争力を高め、滞在中の来訪者の空間的・時間的つながりとなることで、IR全体の快適性や満足度を高める。

エンターテインメント施設

施設名称	種類	コンテンツ内容
夢洲シアター	劇場	<ul style="list-style-type: none"> 世界的なアーティストによるコンサートや映画・音楽の授賞式に加えて、グローバルなコンテンツ展開を行うエンターテインメント企業や世界で活躍するクリエイティブなアーティスト・パフォーマー等とコラボレーションし、新しいエンターテインメントを世界に向けて発信 大阪・関西・日本における新たな才能の発掘と育成に取り組み、日本のエンターテイナーを世界に向けて発信していく舞台を形成
結びの庭等	オープンスペース イベント広場	<ul style="list-style-type: none"> 水とみどりが広がる開放感ある景観、開けた空間を確保 イベント等の開催によりにぎわいを創出、多様な体験を提供

飲食施設

施設名称	機能	コンテンツ内容
ローカルパートナーダイニング グローバルパートナーダイニング	飲食機能	<ul style="list-style-type: none"> 国内外の有名シェフやレストランと連携した飲食施設をIR区域内の各所に展開し、来訪者に独自性と創造性のある「食」の体験を提供
ジャズクラブ、サパークラブ バーアレー等のナイトエンターテインメント施設	飲食機能 ライブ・パフォーマンス機能	<ul style="list-style-type: none"> 来訪者のナイトライフを充実させるエンターテインメント性に富んだ「食」の体験を提供 ジャズクラブやサパークラブでは音楽やパフォーマンスと相まった特別な雰囲気を提供

物販施設

施設名称	機能	コンテンツ内容
Luxuryリテール	リテール機能	<ul style="list-style-type: none"> 世界トップクラスのハイブランドをアジア有数の規模で集積させ、非日常的なショッピング体験を提供
その他リテール	リテール機能	<ul style="list-style-type: none"> 大阪・関西の土産物や日用品等を取り扱い、来訪者の多様なニーズに対応

カジノ施設

◆ カジノ施設の配置及び機能

- ▶ 各顧客層（マス、プレミアム、VIP）の属性と嗜好に合わせたフロア配置
- ▶ カジノ施設への来訪者の利便性を考慮し、多様な飲食店を各所に配置

◆ カジノ施設の運営方針

- ▶ セキュリティ：入退場手続きから周辺警備まで総合的なセキュリティプランを導入
- ▶ 責任あるゲーミング：国内外の最新知見や最先端技術等のベストプラクティス導入
- ▶ 多様な顧客層を惹きつける国際的に魅力ある顧客体験の提供

大阪 I R 区域整備による経済的社会的効果

観光への効果

I R 区域への来訪者数	約2,000万人/年 国内：約1,400万人/年（約70%） 国外：約600万人/年（約30%）
国際会議の開催件数	約485件/年 （ICCA基準9件）
国際的規模の展示会等の開催回数	約46件/年 （ISO基準44件）
送客施設を活用した旅行者数	約4.3万人/年

地域経済への効果

※近畿圏

初期投資額	約1兆5,130億円
経済波及効果（建設時）※	約2兆3,700億円
経済波及効果（運営）※	約1兆1,400億円/年
雇用創出効果（建設時）※	約17.5万人
雇用創出効果（運営）※	約9.3万人/年
I R 区域来訪者による I R 区域滞在中の支出金額	約6,600億円/年
地元調達額（建設時）※	約1兆3,100億円
地元調達額（運営）※	約2,600億円/年
雇用者数（I R 施設）	約1.5万人

効果を最大化するための主な取組み

M I C E 事業

◆ M I C E の開催による産業強化

▶ 大阪・関西が強みを有する10の産業領域を設定し、M G M の持つノウハウを活かして領域ごとに年間5件程度の国際的規模の展示会等の開催をめざす

◆ M I C E 施設へのイノベーション促進施設の設置

▶ イノベーション促進施設の設置により、ビジネス支援プログラムの誘致やビジネス交流機会の提供を行い、関西のベンチャーエコシステムの強化につなげることをめざす

◆ 戦略的マーケティング

▶ 大阪観光局や地域のD M O 等との緊密な連携、営業情報の提供、シティプロモーションの積極的な支援等、M I C E デスティネーションとしての大阪・関西の振興に継続的に取り組む

送客機能

◆ 送客施設の設置・運営

▶ 来訪者に対する日本観光への関心・興味の喚起、旅行の企画・提案・予約・手配の効率化、大阪 I R から広域への利便性の高い交通アクセスの構築等の工夫を行う

旅行消費

◆ ハイクオリティの施設やコンテンツの創出と都市魅力の向上

▶ 高品質の宿泊施設、比類ないエンターテインメント、上質な飲食施設、スポーツイベント等の魅力的なコンテンツを誘致・創出する
▶ 地域のD M O 等の観光関係者と連携し、新たな観光ルートや観光資源の発掘・磨き上げを行い、都市の魅力・ブランド力を向上する

地域経済

◆ 地元産品の調達、地元企業・中小企業の支援（ビジネスマッチング等）

▶ 地域金融機関との連携による地元企業・中小企業への資金・情報面での支援の提供を通じて、I R との取引関係の裾野を広げるとともに、I R による継続的な調達を通じて、地元企業との持続的な取引を行い、その発展に寄与する

◆ 地域ブランディングの向上

▶ 大阪・関西の豊かな食文化の紹介、消費促進及び産業団体や人材育成機関との連携を通じて、食に関するハイエンドのツーリズムや人材育成に取り組む

納付金・入場料等の見込み額及び使途

納付金等の収入見込額（大阪府・大阪市合計）

◆約1,060億円/年（納付金：約740億円/年、入場料：約320億円/年）

⇒ 大阪府・大阪市で均等配分（大阪府：約530億円/年、大阪市：約530億円/年）

※上記のほか、大阪府・市の税収見込み：約160億円/年（大阪府：約50億円、大阪市：約110億円）

納付金・入場料の使途

<必要経費>

使 途	毎年の 必要経費
ギャンブル等依存症対策【大阪府・大阪市】 （OATISを中心とした新規・拡充事業）	約14億円
警察力強化【大阪府】 〔 夢洲内の警察署の設置・運営、 府内の警察職員増員等（約340人体制） 〕	約33億円
夢洲まちづくり関連インフラ【大阪市】 （ I R立地に関連して必要な事業の維持管理）	約4億円
消防力強化【大阪市】 （夢洲消防拠点の設置・運営〔約40人体制〕）	約4億円
合 計	約55億円

<その他一般施策>

- ▶ 夢洲及び夢洲周辺の魅力向上
〔 国際観光拠点にふさわしい水準の高い整備など、夢洲等の魅力向上に資する施策 〕
- ▶ 観光の振興に関する施策
（賑わいの創出や周遊・観光都市の実現 等）
- ▶ 地域経済の振興に関する施策
- ▶ 社会福祉の増進に関する施策
（子育て、教育環境の充実、健康・医療、住民の暮らしを守る施策 等）
- ▶ 文化芸術の振興に関する施策
- ▶ 大阪府・大阪市の財政への貢献

↓
府民・市民の暮らしの充実、次の成長に向けて投資

◆不測の事態等に備えて、納付金等の一部を基金に積立

IR立地による効果

■ 関西・西日本をはじめ、日本各地への波及効果

- ◆ 大阪府域はもとより、関西・西日本をはじめ、日本各地への集客効果の波及
- ◆ 多彩な交通アクセスの誘発等による充実した交通ネットワークの形成



(参考：想定されるアクセス)

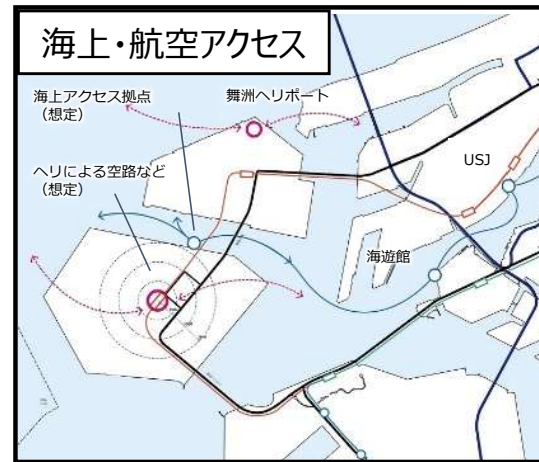
- ・ 鉄道各線の延伸
- ・ 関西国際空港・大阪国際空港・神戸空港の機能強化と連携の拡大
- ・ 大阪湾内の高速艇や瀬戸内クルーズなど海路の整備

岡山・広島
中国方面

香川・徳島
四国方面

滋賀・金沢
北陸方面

伊勢・
名古屋・
中部方面



(出典) 夢洲まちづくり構想

(出典) 大阪府・大阪市IR推進局「大阪がめざすIRについて」より

I Rによる大阪のさらなる成長に向けて

○ 2030年アジアNo. 1の国際観光文化都市をめざして

- 国際競争に勝つための世界水準MICE施設の実現
- インバウンド増加を確実に経済成長に取り込む観光戦略の確立

○ 政府目標の訪日外国人旅行者数（2030年：6,000万人）実現には大阪・関西がけん引役に

- コロナ感染拡大前は訪日客の4割が来阪するなか、大阪、関西の果たすべき役割は大
 - ・ 日本の観光ショーケースの形成 ⇒ 観光客を関西、日本各地へ送客

○ I Rによる効果

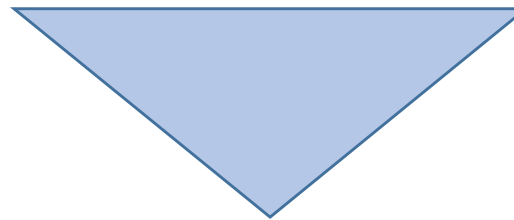
- I Rを核とした国際観光拠点が地域経済にもたらす様々な波及効果
 - ・ 毎年の経済効果 約1兆1,400億円、雇用創出効果 約9.3万人（共に近畿圏）
- ビジネスチャンスの拡大、世界のビジネス都市へ
 - ・ 世界水準のMICE施設がビジネス基盤を強化し、イノベーションや新産業の創出につながるとともに、大阪・関西の強みを世界に発信
- サービス産業の高度化、多様化
 - ・ 直接雇用 約1.5万人（雇用創出効果 約9.3万人/年）
 - ・ 約900種の職種が生まれる（日本にない新たな職種が約300種）
- 大阪・関西の文化芸術振興
- 交通ネットワーク整備の誘発・促進
 - ・ 地下鉄中央線延伸、JR桜島線延伸、京阪中之島線延伸、なにわ筋線開通など
 - ・ 関西・伊丹・神戸の3空港の機能強化と連携拡大
 - ・ 大阪湾内高速艇や瀬戸内クルーズなど海路の整備促進

I Rによる大阪のさらなる成長に向けて

- 大阪ベイエリアの活性化・再生
 - ・ エンターテインメントを中心としたウォーターフロント開発
 - ・ 24時間都市の創生（ナイトエコノミーの活性化）
- 増大するアジアの富裕層対策の推進

○ **最先端の都市政策**

- 世界に通用する魅力ある都市基盤の整備
 - ・ 最先端のスマートシティの形成
 - ・ 観光DXの推進



I Rは大阪が、2030年アジアNo. 1の国際観光文化都市になるため、都市政策、観光政策、経済政策、交通政策、地域振興、と言う観点から、大きな起爆剤になる。

IRによる大阪のさらなる成長に向けて

○ IR開業による地域経済への効果

	建設時	運営時
経済波及効果	約2兆3,700億円	約1兆1,400億円
雇用創出効果	約17.5万人	約9.3万人
地元調達額	約1兆1,300億円	約2,600億円/年
雇用者数（IR施設）	約1.5万人	

（その他）IR納付金・入場料収入・・・約1,060億円

○ IR開業に向けた諸課題の解決

- 1 IRを核とした地域経済への波及
 - ・IR関連施設における日本の観光ショーケース機能の強化
 - ・関西観光本部との連携
- 2 国際競争に勝つための世界水準MICE施設の設置
 - ・展示スペースの早期拡張及び情報発信
- 3 サービス産業の多様化、高度化
 - ・約900の職種（日本に存在しない新たな職種が約300種）を担う
 - 約1.5万人に及ぶ人材の育成と確保
- 4 IR従事者の住居及び教育環境の整備
 - ・約1.5万人の海外人材を含めた従事者の住居確保
 - ・インターナショナルスクールの誘致など
- 5 交通ネットワーク整備の誘発・促進
 - ・JR桜島線延伸、京阪中之島線延伸をはじめ、IR及び夢洲2期エリアから市内に繋がる新たな交通ネットワーク（ゴンドラ、BRT等）の検討
 - ・関西、伊丹、神戸の3空港の機能強化
 - ・大阪湾内高速艇や瀬戸内クルーズ等の海路整備
- 6 大阪ベイエリアの活性化・再生
 - ・市内ベイエリアから後背圏への経済効果の波及を見越した開発